



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成24年9月調査分)

	平成24年6月	平成24年9月	前回調査比
茨城県	46.7	42.3	△4.4
県北地域	42.4	38.6	△3.8
県央地域	44.5	47.2	+2.7
鹿行地域	49.1	42.8	△6.3
県南地域	54.4	47.3	△7.1
県西地域	43.6	36.6	△7.0

《景気の先行き判断DI》

	平成24年6月	平成24年9月	前回調査比
茨城県	45.1	45.5	+0.4
県北地域	42.8	46.6	+3.8
県央地域	45.9	47.2	+1.3
鹿行地域	48.7	47.5	△1.2
県南地域	47.1	49.1	+2.0
県西地域	40.9	37.5	△3.4

平成24年10月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

※平成24年9月1日現在

地域	市 及 び 郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	39	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	17	16	19	20	91
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	4	5	4	4	21

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成24年9月調査の調査期間は、平成24年9月1日から平成24年9月30日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは42.3となった。平成24年6月の調査（以下、「前回調査」という。）より4.4ポイント低下し、横ばいを表す50を20期連続で下回った。

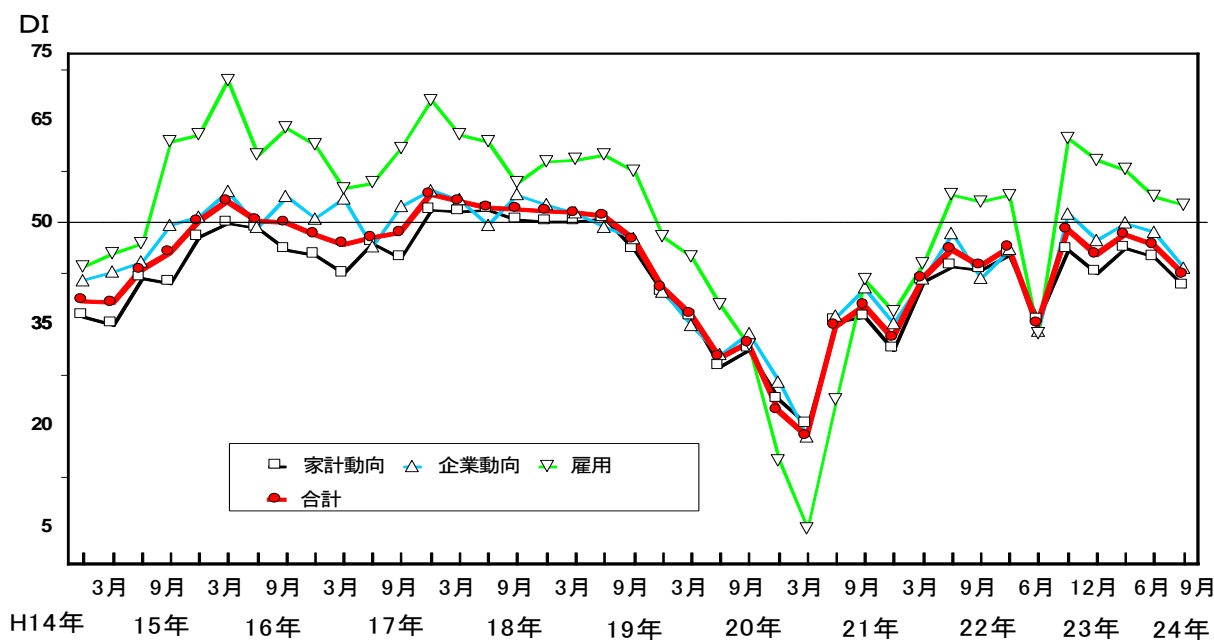
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		48.9	45.3	48.2	46.7	42.3
家計動向関連		46.0	42.7	46.2	44.9	40.7
小売関連		42.9	39.1	48.5	41.5	43.5
飲食関連		42.1	55.0	38.2	55.6	40.5
サービス関連		50.3	43.7	46.5	45.1	38.0
住宅関連		44.4	40.6	41.7	47.2	41.7
企業動向関連		51.3	47.4	50.0	48.6	43.4
農林水産業		40.6	43.8	40.6	43.8	34.4
製造業		50.6	44.8	45.3	47.3	41.5
非製造業		54.7	51.4	58.1	51.4	47.9
雇用関連		62.5	59.2	57.9	53.9	52.6

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	2.1%	29.3%	38.6%	22.1%	7.9%
平成23年12月	2.6%	17.6%	46.2%	26.0%	7.7%
平成24年 3月	1.5%	21.9%	53.2%	14.9%	8.6%
平成24年 6月	1.8%	21.6%	42.8%	29.1%	4.7%
平成24年 9月	0.7%	16.9%	43.7%	28.5%	10.2%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは45.5となった。前回調査より0.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を19期連続で下回った。

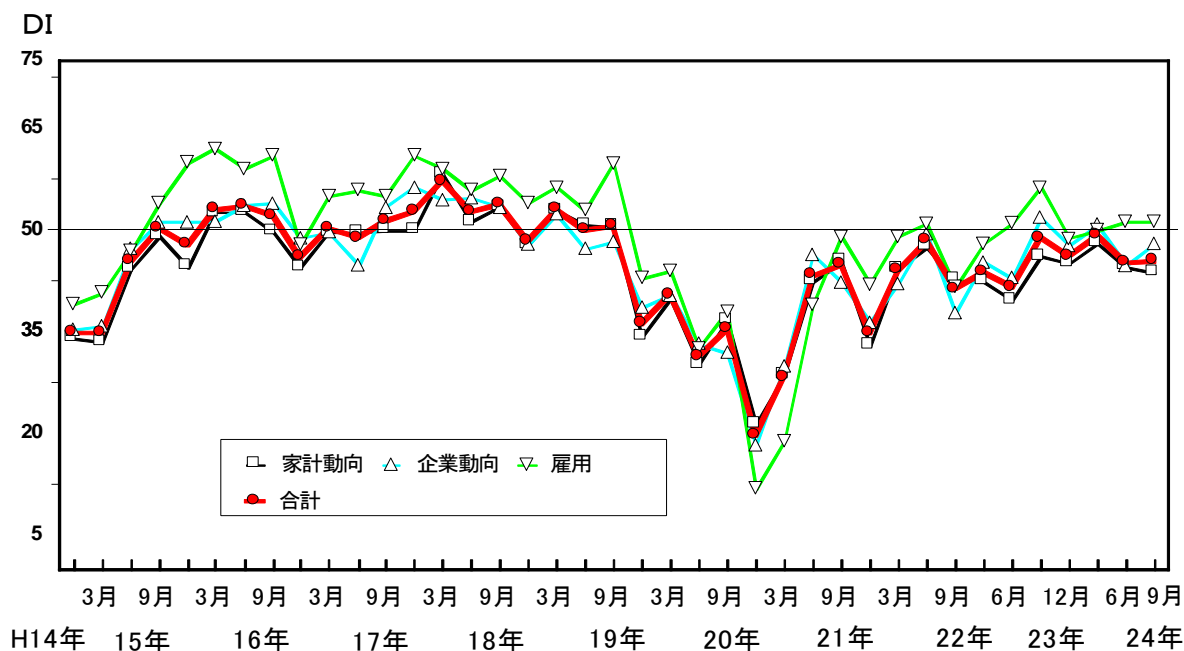
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年 9月	平成23年 12月	平成24年 3月	平成24年 6月	平成24年 9月
合計		48.7	46.1	49.1	45.1	45.5
家計動向関連		46.2	45.0	48.0	44.6	43.7
小売関連		44.3	45.3	48.5	44.4	44.2
飲食関連		44.7	48.3	51.5	48.6	48.8
サービス関連		49.3	44.6	46.5	44.1	41.7
住宅関連		38.9	40.6	50.0	41.7	44.4
企業動向関連		51.9	47.7	50.9	44.7	48.0
農林水産業		53.1	50.0	43.8	53.1	46.9
製造業		53.1	45.9	49.4	42.4	43.8
非製造業		50.0	49.3	54.4	45.7	53.6
雇用関連		56.3	48.7	50.0	51.3	51.3

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	1.8%	23.9%	47.5%	20.7%	6.1%
平成23年12月	1.1%	15.1%	58.5%	18.0%	7.4%
平成24年 3月	0.7%	23.4%	52.4%	18.2%	5.2%
平成24年 6月	0.4%	15.5%	52.2%	28.1%	4.0%
平成24年 9月	1.4%	15.1%	55.3%	20.4%	7.7%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは38.6となった。前回調査より3.8ポイント低下し、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		51.3	44.5	49.1	42.4	38.6
家計動向関連		47.3	41.4	46.3	39.2	33.8
企業動向関連		60.9	48.5	52.9	46.1	44.7
雇用関連		50.0	58.3	58.3	58.3	58.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	3.5%	29.8%	40.4%	21.1%	5.3%
平成23年12月	1.8%	21.8%	43.6%	18.2%	14.5%
平成24年 3月	1.9%	24.1%	53.7%	9.3%	11.1%
平成24年 6月	0.0%	20.3%	33.9%	40.7%	5.1%
平成24年 9月	0.0%	13.6%	40.7%	32.2%	13.6%

② 県央地域

景気の現状判断DIは47.2となった。前回調査より2.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.0	46.8	50.0	44.5	47.2
家計動向関連		47.1	41.2	48.3	43.6	48.6
企業動向関連		53.1	54.4	52.9	47.1	43.3
雇用関連		60.0	66.7	50.0	41.7	50.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	3.6%	29.1%	36.4%	25.5%	5.5%
平成23年12月	1.9%	24.1%	38.9%	29.6%	5.6%
平成24年 3月	4.0%	16.0%	60.0%	16.0%	4.0%
平成24年 6月	0.0%	23.6%	40.0%	27.3%	9.1%
平成24年 9月	1.9%	15.1%	54.7%	26.4%	1.9%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは42.8となった。前回調査より6.3ポイント低下し、横ばいを表す50を19期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		44.9	43.4	49.1	49.1	42.8
	家計動向関連	39.9	41.7	50.0	52.7	42.8
	企業動向関連	48.5	45.3	43.3	42.2	39.1
	雇用関連	70.0	50.0	60.0	45.0	55.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	0.0%	30.5%	32.2%	23.7%	13.6%
平成23年 12月	3.5%	12.3%	49.1%	24.6%	10.5%
平成24年 3月	0.0%	26.8%	48.2%	19.6%	5.4%
平成24年 6月	1.7%	22.4%	50.0%	22.4%	3.4%
平成24年 9月	0.0%	22.0%	40.7%	23.7%	13.6%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは47.3となった。前回調査より7.1ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		51.4	45.9	48.2	54.4	47.3
	家計動向関連	47.1	41.7	46.2	48.3	43.2
	企業動向関連	55.4	52.8	51.4	61.8	51.4
	雇用関連	70.0	50.0	50.0	68.8	62.5

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	1.9%	28.3%	47.2%	18.9%	3.8%
平成23年 12月	3.6%	14.5%	49.1%	27.3%	5.5%
平成24年 3月	1.8%	18.2%	56.4%	18.2%	5.5%
平成24年 6月	3.9%	27.5%	51.0%	17.6%	0.0%
平成24年 9月	0.0%	25.5%	43.6%	25.5%	5.5%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは36.6となった。前回調査より7.0ポイント低下し、横ばいを表す50を20期連続で下回った。

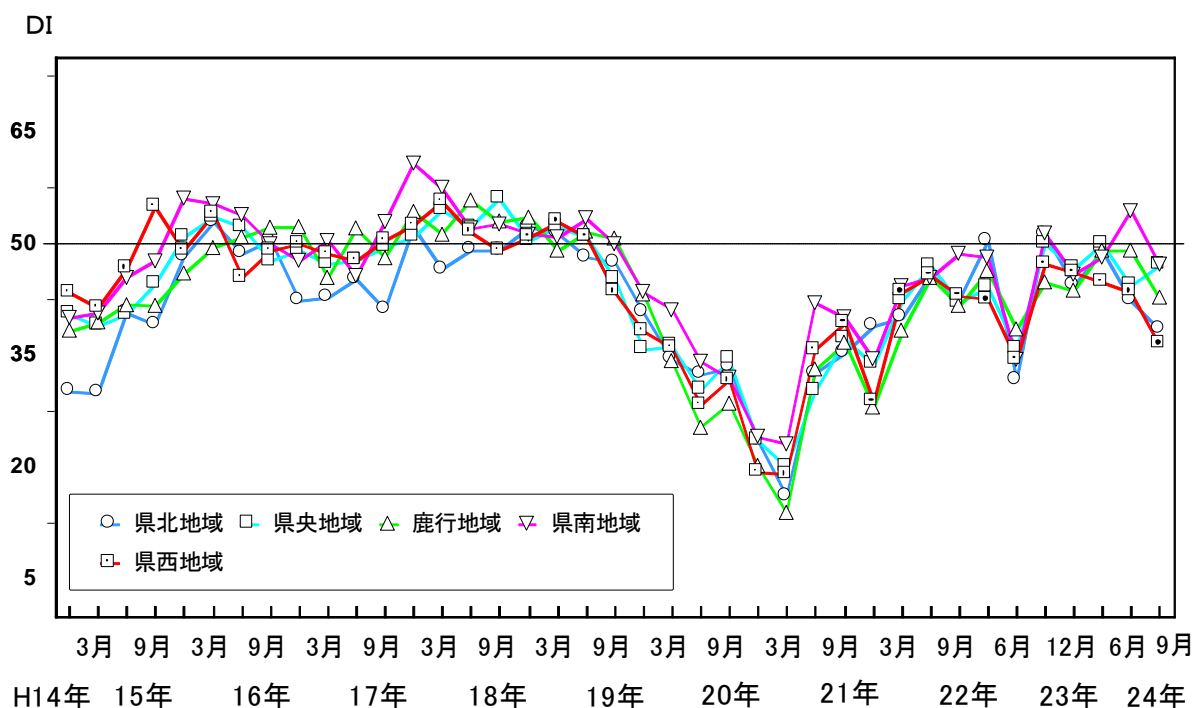
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		47.3	46.2	44.9	43.6	36.6
家計動向関連		48.5	48.3	39.8	40.3	35.7
企業動向関連		41.7	36.8	48.6	46.3	38.2
雇用関連		60.0	75.0	68.8	56.3	37.5

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	1.8%	28.6%	37.5%	21.4%	10.7%
平成23年 12月	1.9%	15.4%	50.0%	30.8%	1.9%
平成24年 3月	0.0%	24.1%	48.1%	11.1%	16.7%
平成24年 6月	3.6%	14.5%	40.0%	36.4%	5.5%
平成24年 9月	1.7%	8.6%	39.7%	34.5%	15.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.6となった。前回調査より3.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		52.2	43.2	47.7	42.8	46.6
家計動向関連		52.0	41.4	43.4	41.9	47.3
企業動向関連		54.7	45.6	54.4	43.4	43.4
雇用関連		43.8	50.0	58.3	50.0	58.3

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	0.0%	31.6%	49.1%	15.8%	3.5%
平成23年12月	0.0%	16.4%	52.7%	18.2%	12.7%
平成24年 3月	1.9%	18.5%	55.6%	16.7%	7.4%
平成24年 6月	0.0%	15.3%	47.5%	30.5%	6.8%
平成24年 9月	5.1%	11.9%	55.9%	18.6%	8.5%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.2となった。前回調査より1.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を20期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		48.2	46.7	49.5	45.9	47.2
家計動向関連		44.9	43.9	49.1	45.0	45.7
企業動向関連		53.1	51.5	51.5	48.5	51.7
雇用関連		55.0	50.0	50.0	41.7	41.7

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	1.8%	25.5%	45.5%	18.2%	9.1%
平成23年12月	1.9%	18.9%	49.1%	24.5%	5.7%
平成24年 3月	2.0%	24.0%	48.0%	22.0%	4.0%
平成24年 6月	0.0%	14.5%	58.2%	23.6%	3.6%
平成24年 9月	1.9%	20.8%	47.2%	24.5%	5.7%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは47.5となった。前回調査より1.2ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		44.5	46.1	52.2	48.7	47.5
家計動向関連		37.8	44.4	52.8	51.4	45.4
企業動向関連		54.4	50.0	53.3	42.2	50.0
雇用関連		60.0	45.0	45.0	50.0	55.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	1.7%	18.6%	44.1%	27.1%	8.5%
平成23年 12月	1.8%	12.3%	64.9%	10.5%	10.5%
平成24年 3月	0.0%	32.1%	50.0%	12.5%	5.4%
平成24年 6月	1.7%	17.2%	58.6%	19.0%	3.4%
平成24年 9月	0.0%	13.6%	71.2%	6.8%	8.5%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは49.1となった。前回調査より2.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を19期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		48.6	44.5	47.3	47.1	49.1
家計動向関連		45.6	43.9	51.5	48.3	44.7
企業動向関連		50.0	47.2	38.9	42.6	54.2
雇用関連		65.0	37.5	50.0	56.3	62.5

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	3.8%	17.0%	54.7%	18.9%	5.7%
平成23年 12月	0.0%	9.1%	65.5%	20.0%	5.5%
平成24年 3月	0.0%	18.2%	60.0%	14.5%	7.3%
平成24年 6月	0.0%	13.7%	60.8%	25.5%	0.0%
平成24年 9月	0.0%	21.8%	56.4%	18.2%	3.6%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは37.5となった。前回調査より3.4ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

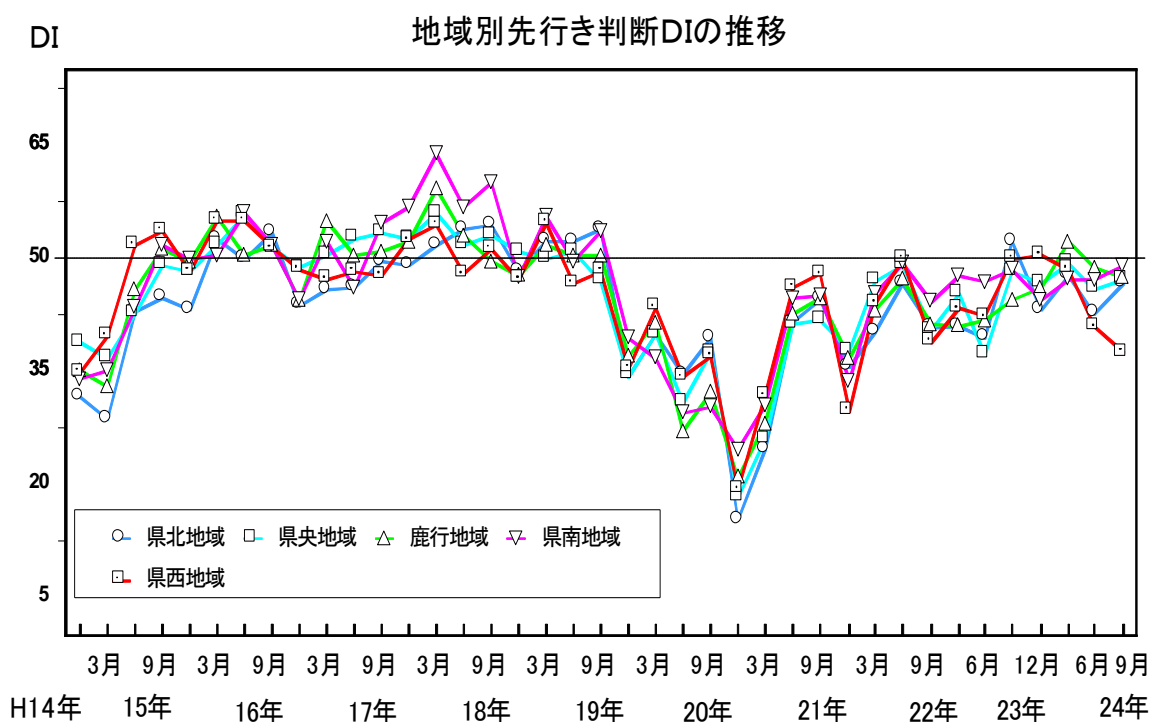
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成23年	平成23年	平成24年	平成24年	平成24年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.0	50.5	48.6	40.9	37.5
家計動向関連		50.0	52.6	43.8	35.5	35.0
企業動向関連		48.6	44.7	56.9	46.3	42.1
雇用関連		55.0	62.5	50.0	56.3	37.5

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成23年 9月	1.8%	26.8%	44.6%	23.2%	3.6%
平成23年 12月	1.9%	19.2%	59.6%	17.3%	1.9%
平成24年 3月	0.0%	24.1%	48.1%	25.9%	1.9%
平成24年 6月	0.0%	16.4%	36.4%	41.8%	5.5%
平成24年 9月	0.0%	8.6%	44.8%	34.5%	12.1%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	284 人	94.7%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	53 人	88.3%
鹿行地域	60 人	59 人	98.3%
県南地域	60 人	55 人	91.7%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	－	－	－	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	現場の数が増えてきたり、見積り物件も増えてきている。	
		スーパー	暑さのため、揚げ物、煮物などは、調理しないで惣菜を買う傾向が見られた。	
		スナック	お盆の後は、お客様がめっきり減るのに、今年はそうでもなかった。	
	企業	製造業（一般機械器具）	製品の出荷量が多くなってきている。	
		製造業（電気機械器具）	受注が増加している。	
		製造業（電気機械器具）	モデルチェンジが完全に移行され、生産台数が増える。	
		建設業	新規物件の見積依頼が増えているので、前向きになってきていると思う。	
	雇用	学校就業関係者	公共職業安定所から紹介される職業訓練受講者の応募者数が減っている。	
	変わらない	家計	コンビニエンスストア	震災以降、お店の使われ方は変化しているものの、客単価やプラス1品の購入に変化は無く、横ばいであると感じる。
			衣料品販売店	生活必需品でない衣料品には、まだお客様の目が向いてない。
金物・荒物・建築資材			売上が横ばいである。	
農産物直売所			観光目的が依然として戻っていない。	
小売業（燃料）			消費の節約傾向に変化なし。冷えていると思う。	
小売業（水産物）			お客様の増減の変化があまりない。非日常の日、日常の日の使い分けがシビアである。	
民宿			風評被害が収まらないと変わらないと思われる。	
観光型ホテル			宿泊、日帰り利用共にほぼ前年同期と変わらない状況であり、景気は3か月前と比較して「変わらない」と判断する。	
旅行代理店			利用単価があがらない。	
タクシー運転手			3か月の売上げが、前回3か月と変わらなかった。	
ゴルフ場			プレー料金以外のお金は出さない。また、平日に限っては、飲物の持込が目立つ。宿泊客の減少が目立つ。日帰り客が多い。	
レジャー施設			売上ベースが例年と変動していない。	
ゴルフ場			来場者がなかなか増えず、単価を下げ集客している状況。来場しているお客様もシニア世代が多く、余計な出費はしない傾向が続いている。	
企業			林業関係者	木材価格の低迷が影響している。仕事量としては、ほぼ同じくらいは出てきている。
	製造業（電気機械器具）	仕事を通じて、景気の動向があまり感じられない。		
	製造業（電気機械器具）	売上げについて、3か月前と変わらず高水準をキープしているが、現在も生産限度ぎりぎりなので、状況は平行である。		
	製造業（電気機械器具）	身の周りの景気の変化をあまり感じない為、以前とは変わらないと思った。		
	情報通信業（情報サービス業）	少しずつ商談は増えているが、価格競争が激しく景気が良くなっている様には感じられない。		
	金融業	企業の設備投資は依然として低調である。貸出金に対する返済額軽減等の条件変更の相談が依然として多い。個人での自宅リフォームや建替えの資金需要が増えてきた。		
	不動産業	直近の販売状況より大きな変化は見られない。		
	サービス業（広告業）	受発注の量が増えていない。		
雇用	公共職業安定所	7月の新規求人数は、前年同月比16.7%と16か月連続での増加、また、前月との対比では20.9%の増加となっているが、7月の有効求人数は2,491で前月との対比ではマイナス1.8%となっている。新規求人数は増加しているものの、有効求人倍率は横ばいで推移している状況。福祉関連職業など一部業種では労働力不足感が強く求人数も増加しているものの、一方製造業、生産工程の職業など減少しているものも見受けられる。窓口等で現況をたずねると「受注は短期間で先が読めない」「円高の影響が大きい」等、前月同様の説明が目立った。		
	求人開拓員	依然として景気の良い話は出てきてません。特に製造業においては、受注が増えていない。		

や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	客数の前年比が悪い。	
		スーパー	客単価が低下傾向である。各社値下げアピールが多くなっているのもその表われ。消費者の購買意欲は確実に落ちている。	
		コンビニエンスストア	8月は、日立市内の企業の輪番操業も多く、来店されるお客様は少なくなっていると感じます。	
		自動車販売店	エコカー補助金の効果で市場が活発になっていたが、補助金終了の声が出始めると動きが鈍くなり、そのまま低調な動きをしている。	
		小売業（酒類）	近隣中小企業では、仕事量の減少傾向が目立ち、少しずつ景気が悪くなっている。当店扱い商品では、高級酒の販売が低迷している。	
		小売業（時計）	この暑さが当業種には影響が有りました。宝飾品を売りづらい暑さです。昨年も暑かったが、今年（現在）の景気は少し悪くなっている様です（昨年同月比）。	
		レストラン	お客様の出入りより感じますし、お客様の話などから感じられます。	
		観光型ホテル	9月の予約状況が今ひとつ悪い。	
		タクシー運転手	企業において経費節約を掲げているので、交際費等に影響が出ている。	
		ドライブイン	風評に関する声は、お客様から聞く事は少なくなったが、消費に活発さは感じられない。客単価も昨年と比べて低い。震災後の去年と比べても売上高が低い。	
		ボウリング場	お客様の話などから、景気はやや悪くなっていると判断した。	
		ゴルフ場	4～6月の月初め予約数、対前年比76、7～9月の月初め予約数、前年比74で、-2ポイント流れが悪くなっている。来場者実績で4～6月の前年比120、7～9月で96と、流れは悪くなっている。予算計画対比では、流れが1ポイント悪くなっている。悪くなっている原因は、猛暑及び経済先行きの心配、野菜高騰等での生活引きしめの様子と考える。	
		クリーニング店	単価及び客数ともに減少している。	
		住宅販売会社	集客が減少している	
	企業	水産業関係者	電気料、燃油代が上昇した。	
		製造業（輸送用機械器具）	一部の部品の受注数が以前に比べて減少している。	
		製造業（輸送用機械器具）	国内はエコカー減税延長によりハイブリット車が販売の主流を占めており、ハイブリット車の取扱をしているかが売上の伸びに大きく影響している。海外向けは地産地消の方針によって、より海外シフトが加速し、国内作業が減少傾向にあって景気の減速感が顕著になってきている。	
		運輸業	輸出貨物が減少している。	
	悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	欧州の金融不安、年金生活者の各種負担増など、消費マインドの低下、客単価の低下が見られる。
			小売業（工具）	取引先、仕入先とも数社同様の意見である。復興特需も一段落したとみられる。自動車関連は思ったほど良くない。内製化が一因ではないか。原子力関連は横ばいであるが、先行き不安がある。
和食食堂			予約の件数が明らかに減っている。	
タクシー運転手			夜間の仕事の回数が減っている。	
タクシー運転手			県北の景気を大きく左右する大手企業が経費の出費を更に絞っていると聞く。夏・盆休み明け、今だに売上げが元に戻らない。	
理・美容店			来店サイクルが長くなった。暑さのせい、特に8月中旬以降、来店客数が少ない。	
企業		製造業（製缶）	前年度比で売上が大幅に減少している。	
	製造業（電気機械器具）	当社は9月が年度末であるが、今期利益確保のため急を要さない発注を控えるよう指示があった。対象品はすべてであり、文具や印刷物などの消耗品も含まれる。よって、ペン等の発注についても、従来は多少在庫を含めた発注が可能だったが、それが不可となった。		

(2) 県央地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(金属製品)	7月頃から仕事が急激に増え、現在は稼働率が100%を越えている。同業他社も同じ状況である。業界誌データによると、前年比60%増だそうです。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	昨年と比較して、タバコ以外の商品売上が2%程伸長している。客数も昨年より1日あたり10~30人増加しており、チェーンとしては伸長傾向。
		専門スーパー	3か月前は、売上高・客数共に昨年を下回っていたが、先月あたりから、売上高・客数共に昨年来を上回るようになってきた。
		観光型ホテル	個人客が少しづつ戻りつつある。
		旅行代理店	国内個人旅行は、夏期の販売は好調、法人需要は横ばい。
		レジャー施設	入場者数は例年の9割程度と回復の傾向が見られるため、景気は戻ってきていると感じられる。
		理・美容店	私のお店は景気がやや良くなっていると判断した。市内で閉店したお店が2件ほどあったためだと思う。
良	企業	サービス業(コンサルタント業)	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比と比較すると、3か月前と同じかやや良くなった店舗が多い。理由としては、昨年3月の大震災で落ち込んだ数字が改善したことに加え、猛暑による影響で暑さ対策商品の購入や、飲料や外食の支出が増えたことがあげられる。
	雇用	求人開拓員	昨年同月(6月~8月)比で見ると、新規求職者数は7%のダウン若干の改善が見られます。求職者全体を見ると、高齢化が進みつつある。また、女性の来所者が多い。採用者の雇用形態を見ると、非正規雇用(約80%)が多い。雇用から見て、良くなりつつも本格的な回復とはいえない。
変わらな	家計	商店街代表者	水戸地方の夏は、昨年に続き猛暑で、日中は日差しが強く、熱中症対策のためか、人々が商店街を歩かなくなった。しかし、今年は好天が続く急な雷雨がなかったため、人通りが少ないながらも急に引ける事はなかった。当店においても来店客数は少ないが、極端に減少や来ない日はなかった。売り上げも良くないが、減少する事はなかった。相変わらず中心商店街は景気が悪く、悪い状態が継続しております。
		百貨店, 総合スーパー	前年同月対比とほぼ同じ動きを見せている。
		百貨店, 総合スーパー	昨年の同時期はまとめ買い、衝動買いが見られたものの、5月位からか買い物動向に慎重さが出てきていると感じている。現在もその状況に変わりはありません。慎重に考えた後、購入される方が多い。
		スーパー	特需が発生した昨年より一順し、通年に戻りつつある。
		スーパー	3か月前と比較して、客数、供給、共に伸びていない。
		スーパー	相変わらず、景気がよくなる兆しはない。
		コンビニエンスストア	売上が前年と変わらず、商品の動きが変化していない。多くの店舗で同様の状況となっており、景気変化は少ないと思われる。
		家電販売店	品物の動きが悪い。暑くてもエアコンを取り付けず、我慢している人が多い。
		農産物直売所	お中元、お盆のギフト需要について、買い上げ点数は同じだが、単価が安い物が売れている。
		スーパー	いい話も、悪い話もきかない。
		レストラン	ご利用の人数や価格については、大きな変化はみられませんでした。
		都市型ホテル	現在、全体の予約状況としては悪くないが、好転している状況でもない。また、お客様との会話でも同様な感じがする。
		旅行会社	去年と同じ位の売上げである。
		ゴルフ場	3か月前と比較して、猛暑などの影響により来場者数が減少している。当ゴルフ場の特徴である歩行プレーも影響の一端となっているかもしれない。
		レジャー施設(乗馬クラブ)	お客様が増えている様な感じもするが、昨年と比べてみるとあまり変わりがない。
		レジャー施設	当施設はこれから復旧工事を行うため、新規申込は断わっている状況なので、宣伝広告等を一切していません。またHPでも新規は受付できない旨の記載をしているので、景気の判断が難しいです。
		理・美容店	景気が悪く、以前と変わらないです。
建築設計事務所	周辺から感じるのは、仕事はあるものの雑用が多く、利益に直接繋がらない状況が続いている。		
住宅販売会社	消費動向に変化なし。ローコスト志向が高く、販売価格も伸びない。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	お盆以降に、農産物価格の下落傾向が見られるが、夏場は取り扱い量が少ないため、大きな影響はない。
		建設業	個々に購買意欲が向上していると思えない。
		運輸業（道路貨物運送業）	変化がなく、通常の稼働になっている。
		金融業	3か月前と比べて、小売、製造業の業況に変化はなく、売上高の変化も感じられないため。
		不動産業	お部屋探しのお客様が、秋の異動時期に入ってもなかなか渋く、金銭的にも値引き交渉などが加速している。
		サービス業（広告業）	これと言って、契約や受注が増えていない。
	雇用	公共職業安定所	有効求人倍率は6月と比べ上昇しているが、これは例年見られる傾向となっている。例年における6月からの有効求職者の減少率と有効求人数の増加率と比較してみると、有効求職者の減少率はほぼ同様であるが、有効求人数の増加率については微増にとどまっている状況である。
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	前年との比較において、売上、点数でダウン傾向は続いている。
		自動車販売店	経済の好転が期待できない中で、購買意欲が衰えている感があります。電気代、ガソリンの値上がりもあると思われます。
		レストラン	夏休み期間で、例年家族連れ動きが活発な時期だったが、動きが少し鈍い様に見えた。また、電気料金の値上げなど、家族に負担がかかる様な声を聞きました。
		レストラン	やはり、夏場の観光客は少なかった影響があり、3か月前よりはやや下降気味です。
		都市型ホテル	前月が前年比115%だった事もより、反動でやや悪くなっています。それ以外の月は変わりません。
		タクシー運転手	猛暑の為か、昼間はまずまずでしたが、夜はあいかわらず動きが鈍く、全体的には悪くなっているように感じた。
		ドライブイン	とにかく、お客様が来園来店せず、この先も不安です。
		観光名所	暑さが続く為か、風評の為か原因がはっきりしないが、昨年同時期の推移よりも厳しい状態が続いている。
企業	製造業（食料品）	旧盆等、催事があるので3か月前よりは物は動くが、海水浴客が40%に満たないことに象徴されるように、依然風評被害に悩まされている。その上、電力料金の値上げを認めざるを得なくなり、先行きは暗い。	
	製造業（印刷・同関連業）	受注量が減少している。	
	製造業（一般機械器具）	作業量がだいぶ減って来ました。全般に悪いです。	
	製造業（精密機械器具）	売上のシフトが3件発生しました。翌月、翌々月、その先へのシフトです。	
	サービス業（広告業）	地元企業の宣伝折込チラシが減少している。	
雇用	人材派遣業	工場関係の人員調整が多く感じられる。	
悪	企業	製造業（窯業・土石製品）	受注が大幅に減少している。

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	小売業（米穀類）	震災で打撃がありましたが、建築業を中心に仕事の現場がかなり多くなっていると思われる。又、米の収穫期に入り、価格も昨年より高いし、収穫量も多いとのことである。	
		コンビニエンスストア	夏の行楽シーズンは、昨年の震災による自粛ムードからは一変して一昨年より人の動きは良く、何より天候・気温の後押しがプラス材料として大きい。消費マインドは悪くなく、接客やサービスの質の強化で上積みが図れていると思う。	
		小売業（酒類）	地域のイベントや祭などの機会に使用する酒類や飲料、菓子などが、13%~15%ほど前々々月より伸びた。	
		洋食食堂	前年比の伸び率が良くなっている。ランチのお客が増えている。工事関連のお客の来店がある。	
		ドライブイン	東日本大震災の風評被害が徐々に解消されていると思う。	
		ゴルフ場	来客数・予約数が多くなってきている。また、ショップ、レストランなどの売上げも3か月前と比較してもだいぶ良くなってきている点から、景気はやや良くなっていると判断する。	
		理・美容店	来店サイクルや客単価の向上で、景気の上向きを感じられる。	
		クリーニング店	葬式が多く、礼服の量が多かった。ワイシャツの量も多かった。	
	企業	製造業（化学工業）	徐々に需要が回復、稼働が安定しつつあり、また、原材料安にも助けられ、業績はわずかながら回復の兆し。	
		建設業	震災の影響で全壊半壊の建物が、海岸近くで液状化で住めなくなってしまったので、建て替えをする人がかなりいます。	
		保険業	生産者米価が23年度より1俵当り1,000円~1,500円高で売れている。	
	雇用	学校就職関係者	企業からの求人が多くなった。	
	変わらない	家計	商店街代表者	先行き不安から消費意欲は低迷し、客単価は低く、萎縮した状態が続いている。
			スーパー	大きな客数の変化は無く、前年対比でも伸びは無い。観光客は増加する予想だったが、それほど他県からのお客は目立たなかった。
コンビニエンスストア			タバコ特需が無くなった現状でも、客単価は上がり続けている。点数も同様。お客様の消費動向には大きな変化はないと考えます。	
家電販売店			8月からの猛暑により、季節関連商品の売上は好調ですが、全般的な単価ダウンの影響が大きい。	
農産物直売所			季節的な要因はあるものの、来客数、売上げともに、3か月間を比較しても妥当なものであるため、景気は変わらないと判断する。	
小売業（菓子販売店）			6月の売上げは対前年比と9月の売上げ対前年比が変わらない。	
小売業（薬品店）			時代の流れで消費者は、薬を飲むというよりも健康食品などのサプリメントを摂る傾向が強い。ただ、情報に流されて危険なサプリが数多い事も事実である。	
小売業（金物店）			道路の整備や護岸工事が現在忙しく、その関連の注文や配達があります。	
小売業（書店）			全ての数字がほぼ横ばいか、若干下がり気味。お盆等で一時的(季節的)な上昇要因はあったが、それ以外は変化なし。	
ゴルフ練習場			プライベートでのゴルフ場の利用やゴルフコンペ開催の日数等の状況は以前と変わらない状態と感じます。特に、プライベートでの利用状況は、シニア層の活動が旺盛であると思われます。	
理・美容店			震災から1年半がたち、普通の生活に戻って来た様に思える。しかし、まだまだ景気が良くなったとは思えない。	
住宅販売会社			膠着状態が続いている。先行き不安による購入待ちが増えている。	
住宅販売会社		展示場の来場者数などについては、特に変化なし。		
企業	製造業（食品）	特に忙しくなったという話は聞かない。		
	団体	サマージャンボの売上はほぼ前年並、他のくじは若干落ちている。		
	建設業	受注そのものは上がっていると思いますが、経費関係はそれ以上に上昇しているので、実際のところ変わらない。むしろやや悪くなっている感があります。		
	製造業（鉄鋼業）	新規投資等の話もなく、悪い状況で推移していると思う。		

変 わ ら な い	企業	運輸業（道路貨物運送業）	既存の荷主も底固く順調に推移している。8月末から新規の話も具体化しつつあり、ある程度安定した展開となっている。
		金融業	災害復旧関連企業・個人はやや上向きに推移するも、全体的に設備投資等の需要は少なく現状維持の状況が続いています。
	雇用	人材派遣業	茨城県の有効求人倍率は若干改善されたようですが、我が派遣業界から見ますと派遣の引き合いは益々厳しさを増している。但し技能・技術を有している人の引き合いが少しは出ている模様です。製造関係での一層の生産増を期待しています。
		民間職業紹介業	求職者数も求人者数もほとんど伸びてこない。
公共職業安定所		建設、土木関係では、中小企業からの求人の動きが見られるが、他の職種では、増員ではなく欠員補充による求人が多く見られ、景気が上向いているとの判断は難しい。	
		就職支援センター	震災復旧関係で多忙な土木建設、比較的順調な食品関係、低価格志向に支えられたディスカウントストアなど、好調な部門も一部みられるものの、総じて仕事が減少し、余剰労働力を抱える企業が多いとみられる。求人では、介護関連、土木関連に根強い求人があるが、資格職が多く、そのためミスマッチが目立っている。
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	日替り商品、その中で特に目玉商品に集中して、以前より価格が安くないと売れなくなってきている。
		自動車販売店	仕事で様子をみた限りでは、値上り等がこれから始まるので、支出をおさえる話がよく出ています。
		衣料品販売店	客数の減少がある。
		レストラン	お料理単価が下がって来ています。3か月前までは皆、復興ムードがありましたが、今はそれも段々少なくなってきた気がします。
		割烹料理店	理由は見当たらないが、3か月前は思いのほか忙しく売上も良かったが、現在は、予約の状況も少なく、予算的にも低予算になっている。
		タクシー運転手	3か月前は、季節的な要因と電力会社の工事が重なり、売上げの伸びは良かったです。今月は、それらの要因を差し引いて考えても、売上げの落ち込みが感じられます。その為、景気はやや悪くなっていると思われれます。
		室内装飾業	今回の地震で家などに多大な被害をもたらしたが、ここに来て修理、改築などが落ち着いて工事の量が以前に戻った。
企業	製造業（食料品）	猛暑がかなり影響していると思いますが、需要(受注)が減少しております。売上げも前年比と比べて悪くなっています。	
	製造業（食料品）	暑さが厳しく日中の人通りも少なく、お中元・お盆の帰省時の贈答用品もあまり伸びが無く、期待をしていた売上には至っていない。	
	製造業（化学工業）	石油化学関連の景気低迷により、会社の構造改革が行われている。景気全般に震災の影響が及び、加えて世界的な景気低迷や歴史的な水準に到達した円高などにより業績が急速に悪化し、大幅な経費削減も実施されている。	
	運輸業（道路貨物運送業）	好転するように期待していたが、兆しがみえない。	
	不動産業	共同チラシ等、当社は毎月1回～2回発注していますが、今まで定期に入れている会社がだいぶ少なくなっていて、このままでは広告会社2社～3社のうち1社くらいがやめてしまうような気がする。	
	サービス業	営業活動の中で、問い合わせ、依頼等、先方からのアプローチ受注が減少している。	
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	仕事がなく、暇な日が多い。
		日本料理店	増税の話が出てから予算を気にする人が多くなった。
		観光型ホテル	当館利用者の予約状況から、景気が悪くなっていると判断した。当館利用者の消費単価が下がっている。
		タクシー運転手	当地区では、5月前後の企業（コンビニート）関係の定期修理と火力発電所増設工事が一区切りで、特に人の動きが止まった。更に、過去にない猛暑の影響を受け、生活状況の変化を感じる。
		タクシー運転手	短期間（3か月位）であったが、電力会社のガスタービンの新設工事、又、定期修理等があり、6月一杯位までは動いていたが、以後は極端に悪くなった。（月平均10万円位のダウン）
		タクシー運転手	コンビニート企業への取引関連のお客様の減少、又、企業からの出張のお客様の減少など。
企業	農業関係者	少雨の影響が大きく、種まきが出来ない。	
	製造業（食料品）	4月以降、食品の放射線量の基準改正により、消費者がより敏感になり、売上減少、低下が目立つ。	

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	お客様が商品やサービスに対して価値を感じて頂ければ、購入につながる機会が増えており、客単価や買上点数に改善傾向がみてとれる。
		小売業（酒類）	昨年、震災の影響で中止になった花火大会等が今年再開し、人や物の動きが良くなってきたと思う。
		ガソリンスタンド	職場関係で旅行に出かける人が増えている。
		和食食堂	3か月前と比べると、前年比が少しずつ上がってきている。
		洋食食堂	通常の営業にはあまり変化はないが、映画やドラマのロケを含め、他県からの仕事が増えつつある。
		住宅販売会社	つくば市内の分譲地に対する反響が大きい。TX沿線の需要はまだ伸びそう。
	企業	製造業（食料品）	お中元や各地でのイベント等があり、お客様の動きが良くなってきている様に思います。季節的な要因を除くとあまり変わらない様です。
		製造業（飲料）	料飯店、ゴルフ場の客が増えている。
		製造業（印刷業）	イベントの件数が前年度より多くなり、売上げがやや良くなった。
		製造業（窯業・土石製品）	震災復旧関連の受注や民間の設備投資も復調傾向にあり、受注は増加している。
		運輸業（倉庫業）	貨物等の入出庫が多く、また、新規貨物の問い合わせがあり、販売はともかく生産が順調と推測されます。空き状況の問い合わせもあり、貨物が動き出したと思われる。
		サービス業（広告業）	多少契約が増えた。
	雇用	人材派遣業	人材派遣業の傾向として、夏より受注が増えていく。本年も同様に、企業での生産が増加傾向、又、期間での就業が秋口にかけて増えてきている。
		公共職業安定所	24年6月と比べ24年8月は、新規求人の申込が増加している。特に、特定の産業に限定されず、全般的にという印象である。新規求職者は、減少傾向である。
	変わらない	家計	スーパー
コンビニエンスストア			天候が良く気温が高いときは、冷たい商品などが売れ売上は良いように思われるが、天候が悪い時などは売れる商品が少ない。お金の動きは以前と変わっていない。
農産物直売所			過去3か月、前年対比102%と変わりなし。ただ給料日前、月末、月初めによっては多少違いますが、月末トータル変わりなし。
寿司店			今年の夏は暑くて大変、品質管理も大変だった。しかし、7月、8月は店は忙しく、お客様も来店してくれていました。9月に入ってすっかり落ちついてしまいました。希望的な見かたで変わらないで欲しいです。
都市型ホテル			個人のレストラン利用及び企業の宴会など特に大きく変化が見られなかったことから、景気は3か月前と比較してあまり変わらないと思います。
タクシー運転手			日々の売上額は横ばい状況です。
タクシー会社			毎日暑い中、節電と電力料金の値上げ等を考えると他に向く消費意欲は持ち消され、財布の紐は固くなる一方で、良く見ても横ばいである。
ゴルフ場			昨年との対比はあまり意味がないが、一昨年との比較では、来場者の変化は少ない。また、売上面での大きな変動もないので、景気は変わっていないと思う。
パチンコ店			前回調査同様、客数及び、売上率が平均している。
理・美容店			今年の夏の暑さは、お年寄りにはこたえるらしく、日中の暑い時間の外出をやめていることで、少なからず、消費は思いのほか上がってなさそう。
企業	企業	建築設計事務所	耐震関連の問合せはあるものの、一般建築の受注はほとんどない。いつまでこの状況が続くのか心配です。
		製造業（家具・装備品）	製造および販売の仕事です。製造は今も忙しくやっています。販売は価格が低く、ここ数年売上は減少しております。
		製造業（窯業・土石製品）	東北地区においては、昨年実施できなかった工事がようやく動き出した感はしますが、全国で見るとよくなっている感は受けません。
		建設業	昨今の頃は、震災関連の仕事がかなりあり、景気もやや良と判断したが、今年是一段落した。しかし、3か月前と比較すると、工事量も変わらず堅調であり、景気は変わらないと判断する。
建設業（設備工事業）	土地の造成がまだ続いている。資材の売上げは変わらない。		

変わらない	企業	金融業	売上高、業況は全般的に横這い状況。不動産等の売買、設備資金の需要も依然として少ない状況である。
		不動産業	茨城県南部は、開発区域の増大、人口の集約化に伴い、賃貸、売買、特に建築関係に於いては悪くない。消費税の駆込み需要等もあり、平均的には、プラス、マイナス要因はあるが変わらない。但し、地域、業者、業態間の格差は相当ある。市場のニーズ、変化に対応できていれば心配はないと思う。
	雇用	学校就職関係者	地震や竜巻の対応以外では無駄に支出をしない生活様式になっているため、変化しにくい状況にあるように思う。娯楽はゲームなどお金のかからないことや映画・買い物・外食など、日常生活の中で楽しみを見だしパターン化した生活をしている印象。
		求人開拓員	求人件数は増えている。1事業所1名の求人が増えている。ところが、契約、パートなどの非正規の求人で、一件あたり10名～20名の求人が減っている。双方を考えると3か月前と比較して変わらないと思う。
やや悪くなっている	家計	スーパー	前年に比べ一品単価が下がっており客単価が落ち込んでいる。また、客数も減っている。
		スーパー	客単価が下がっている。
		家電販売店	お客様の購買意欲の低下や商品群の中で、低単価商品の動きが増えている。
		小売業（化粧品）	客単価や購入品数が減少している。残暑が長かった為か、秋物商品の販売が思わしくない。
		都市型ホテル	宴会、会議等の予約はほとんど変化がないが、レストラン及び宿泊の予約が減っている。（個人のレストラン利用が減った）
		旅行代理店	売上げについて、今月の前年比と6月の前年比を比べると、伸び率が下がっていることから、やや悪くなっている。
		タクシー運転手	求人は来るが、お客は増えない。
		タクシー運転手	日に日に売上げが減ってきていることから、タクシーの利用を削減していると思われる。
		ゴルフ場	8月の関東地方は連日雨が降らず猛暑が続いている。日陰が少なく、野外スポーツで、1日6時間程度日にさらされるゴルフは敬遠されるため、厳しい状況になっている。
		ボウリング場	我々の業種に使ってくれるお金の流れ方において、若年層からはあまり感じないのですが、高齢層（年金層）の方々のお金の使い方「使い控え」を感じます。高齢層の比率の高いボウリング場では、この夏、昨年と比較するとマイナスでした。若年層の比率の高い所では、横ばいの傾向にあります。
レジャー施設	入場者が微減傾向であるうえ、客単価も微減傾向のため景気はやや悪くなっていると判断した。		
企業	企業	製造業（非鉄金属）	大手自動車メーカーからの3か月インフォメーションでは、予想発注数量は伸びているが、直近では数量が10%程度落ち込んできた。
		建設業	某取引先の話では、大規模な改築工事で半分は国からの補助が出るにもかかわらず受注が増えず、止めようかと役員がこぼしていました。もちろん当社の受注もほとんど8か月はありません。大手企業も受注伸びていない。
		建設業	下職に空きが出てきている。問屋の営業から物が出ないと嘆きの声を最近聞くことが多い。
悪	家計	小売業（酒類）	竜巻のせいか、売上が少ない。竜巻をきっかけに安売り店に乗り換える所もあります。
		代行運転手	飯時でも、外食する人が少ない気がする。
	企業	製造業（食料品）	3か月前と比較すると人の流れと来客数が減少している。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	直近にて、客数・客単価共に上昇傾向にあり、個人の消費は高まってきていると感じる。天候の後押しもあり、人の動きは活発となっており、即食性の高い商品の動きは良くなっているが、それだけではなく、要調理商品の動き、特に夜のお客様での動きもよくなっており、商品も幅広く動いている。
やや良くなっている	家計	スーパー	お客様の買上単価が上昇している。
		ラーメン店	帳簿の数字でも確認できるが、体感的にも、仕込み、仕事の多忙さなどでも、景気がやや良くなっていると感じる。
		理・美容店	季節に関係なく、客足の伸びは良い。客は技術と店の雰囲気によって、自己の癒しに来ていると言われる方もいる。嬉しいことである。サービス業の原点を忘れず、誠意を込めて客と接すれば、必ず売上に反映する。
	企業	製造業（食料品）	売上高が昨年に比べて多少だが増えてきている。ただし、お中元は若干減っている。
雇用	公共職業安定所	4月の新規求人数917人に対し、7月の新規求人数は976人と6.4%の増加となっている。	
変わらない	家計	商店街代表者	客単価は一向にあがらない。
		自動車販売店	消費税問題、エコカー補助金終了と、良い話がなくて閉塞感もあり、必要以外の物は買い控えになり、景気は変わらないと思います。
		農産物直売所	天候やセールなどで客数の変動はあるが、1か月間通してみると、お客様の動きは変わらない。
		和食レストラン	ファミリーレストランなので、夏休み、お盆休みで来店される方が多かったです。少子化で子供が少ない為、人数もそんなに多くなく、また休み期間後は反動で暇な日も見られます。諸税金や電気料金の値上げも影響があるのかと感じています。(全体に客単価は下がっています)
		都市型ホテル	毎年この9月は売上げが少なく、定期的な会合等が入っていること位で、その為、例年変わらない売上げとなっている。
		ドライブイン	客数、客単価共に、目立った増減はなかった。
		ゴルフ場	予約状況により、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	売上げについて、今月の前年比と3か月前の前年比を天候リスクも含めて比べると、ほとんど変わらない。
		レジャー施設	宿泊の予約状況や、来館者様との会話の中で景気回復というような話が出ない。また、チェックアウト時にも「また来たい。」という言葉はあっても予約には至らない。
	理・美容店	お客様の来店数、売り上げなどを比較してもあまり変わらない。	
	企業	農業関係者	果物類まで買うお客が減っている。
		製造業（印刷・関連業）	東京のスカイツリー開業以来、浅草方面をはじめ、銀座も新宿も東京はどこも賑わっているようだ。地方との格差は益々広がる一方だ。地方は、各県も各市町も会議所、観光協会等などを中心に努力はしているが、話題を推進し、都市間競争に勝ち、賑わいを取り戻し、各店舗共、売上増に結びつくという結果までは至っていない。日本全国、地方の「なやみ」はしばらく尽きない。
		製造業（金属製品）	複数ある得意先の中には「やや良くなっている」に該当する企業もあるが、空洞化の進む企業、円高の影響を受けている企業もあり、総じて「変わらない」と考えられる。
		金融業	設備資金の申込など、資金需要は増加傾向にあるが、殆どが老朽化により買い替えるもので、売上高の増加につながる受注増加等によるものではない。
製造業（印刷・関連業）		季節に関係なく、仕事の動きが鈍いです。	
サービス業（広告業）		契約が増えていない。	
雇用	就職相談員	新規求人が若干増えて来ており、新規求職者は減少傾向にある。一方、求職者の再来状況を見ると、昨年前期比で増加傾向になっている。有効求人倍率の上昇や失業率の低下など、最近の雇用状況は改善していると言われているにもかかわらず、景気が改善しているという実感はない。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	東日本大震災の影響で行楽を控えていた昨年と比較して、今年行楽に出掛ける人も多く、住宅地内の店舗では週末の来店客数が減少しています。また、近隣で競合のコンビニエンスストアが相ついで開店したため、利用客が分散。更なる客数減につながっています。
		専門スーパー	売上に関して、3か月前は前年比96.2%、今月（8月）は94.1%と、数値的にも悪化している。
		和食食堂	電気料金の値上げで落ちついてきた節約指向がまた起きてくるのではないかと思います。
		和食食堂	景気の回復が思う様でなく、客単価や客数も減少傾向にあり、売り上げが落ち込んでいるので、やや悪くなっていると思う。

や や 悪 く な っ て い る	家計	旅行代理店	残暑がひどく、お客様の流れが少ない。ツアーを組んでも参加者が少ない。
		ビジネスホテル	過去3か月は景況感が良くなり人の動きも良かったが、一段落した感がある。今後の動きが芳しくない。
		タクシー運転手	我が地区はデマンド利用者が多く、タクシーの利用が極端に少なくなって来ている。
		ドライブイン	客数、客単価とも伸び悩んでおり景気改善の兆しが見えない状況である。
		日本料理店	ランチタイムは好調だが、夜の宴会・会合などが減り客単価も下がっている。
		ゲームセンター	前年売上を超える月がなく、場合によっては3か月前よりも悪い売上の月もあった。
		住宅販売会社	イベントによる集客が以前と比較して減少している。
	企業	農業関係者	販売物の価格低迷や生産資材の価格高騰により、所得金額が上がっていない状況。
		製造業（食料品）	新商品の売上がのびず、従来品の売上也も頭打ちになっている。仕入値もジリジリと各種原料が値上がり始めている。一番取引額の多い取引先も、単月決算で赤字か利益ゼロに近い状態まで落込んでいる様だ。
		製造業（印刷・同関連業）	単価を切り下げない限り、仕事を受注できなくなりつつある。
		製造業（化学工業）	中国・アジア等で半導体・液晶関連部材メーカーで在庫調整局面となっている。
		製造業（電気機械器具）	作業量の減少により、人員体制の見直しが急務となっている。
		電気工事業	かかってくる電話も少なくなっている。民間の仕事が落ち込んでいて減少している。
		不動産業	賃貸単価が下降傾向。
雇用	学校就職関係者	年度初めは活気が出てきたように見受けられたが、その後、後退気味で徐々に悪くなっていると感ずる。	
悪 く な っ て い る	家計	時計販売店	売上が低下している。
		家電販売店	エコポイント特需もなく、省エネ追求での購入より故障からの買替えが増え、入店客数が減少している。
		タクシー運転手	タクシーは夜が勝負ですが、全く飲み屋さんが閑古鳥が鳴いています。通常、暑い時期は、経験している限りでは数字が良いわけなんだが、今年の夏は猛暑の影響か、数字が伸びず頭を痛めている。最近の状況です。
		タクシー運転手	全体的に需要が減っている中で、特に夜の飲食関係の需要が半減した。（ロンドンオリンピック、猛暑等で出足が悪かったか？）
		クリーニング店	物価の値上りが多く、景気も良くなる兆候が見られない。
		建築設計事務所	仕事が決まらない。
	雇用	人材派遣業	8月31日で35人解雇された。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント		
良	家計	商店街代表者	先の工事予定から、良くなっていくと判断した。		
		和食食堂	毎年12月は忘年会の予約が入ってくる。		
		観光型ホテル	時期的なものもありますが、11月から年末の問合せが多い。		
やや良くなっている	家計	小売業（時計）	政局にもよるでしょうが、全体の底上げは済んでいると思うので、やや良くなっていると思われる。稲作も順調の様です。		
		スナック	家や車を買う人が増えてる様に思う。		
		観光型ホテル	前年同期と比較して、忘年会等日帰り利用の予約問い合わせが多くなっている。予約も増加が見込まれるため、景気は「やや良くなっている」のではないかと判断する。		
		理・美容店	催事が多くなるので、景気はやや良くなっていくと考える。		
	企業	製造業（精密機器）	毎年のパターンだから。		
		建設業	消費税率アップまでは今後も同様と思われる。		
	雇用	学校就業関係者	公共職業安定所に登録している求職者数が若干ではあるが減っている。		
変わらな	家計	コンビニエンスストア	現状の様子から見て、地域の企業の厳しさが伝わってくる。冬期の賞与など含めて良くなる見込みが無く、現状から良くなる見込みは少ない。		
		コンビニエンスストア	日立市内でも製造業が大きく回復している見込みはないと感じられる。		
		衣料品販売店	消費者は、日常の事に追われ、ファッション関係には動く気配がない。		
		金物・荒物・建築資材	見積り等の提出が増加しない。		
		自動車販売店	特に、販売が伸びる要素もなく、消費者は先の見えない今後に対して不安があり、大きな買い物をして負債を増やすことや、今の資産を減らすことを避けているように思える。		
		小売業（燃料）	商品(燃料)の需要は減少傾向であり、3か月で大きな変動はないと思う。		
		小売業（酒類）	給与所得減少の為か、消費手控えが続き、安価の商品に集中している。		
		小売業（水産物）	お客様の購買欲はそれほど動きがないので、見通しが良くなるとは思えない。		
		民宿	先行きの不安などから、出費を抑えてる傾向も考えられる。		
		タクシー運転手	受注が増える行事が多くなると思う。		
		タクシー運転手	やはり、景気の不透明感があり、一般消費者も企業も財布の紐が緩まないと思う。		
		タクシー運転手	地元企業において、9月末頃に歓送迎会等で多少は利用頂けるかと思うのですが、深夜残業での利用が期待できないため、変わらないと思います。		
		ドライブイン	秋の山きのこが去年同様に販売できるか心配。現在、例年よりもバスの動きが少ない。		
		ボウリング場	よくなる要因が見当たらない。		
		ゴルフ場	首都圏方面からの予約も増えており、予約の進捗は良いが単価の下落が続いている。シニア世代は、ゴルフをする余裕があるが、若年層の利用は横ばいの状況。		
		クリーニング店	お客様との会話でも、全く景気の良い話は無い。		
		住宅販売会社	消費税の増税が身近になってくれば、駆け込み需要が見込めるが、今年度はまだそこまでは至らないと思われる。		
		い	企業	林業関係者	同じく推移していきそうであるが、価格等も上向きになればと期待したい。
				製造業（製缶）	見通しが立たない状況。
	製造業（一般機械器具）			受注量が現在とほぼ同じである。	
製造業（電気機械器具）	生産予約が、今期3月までつまっている状況であるが、生産の増産はないので、現状維持になる。				
製造業（電気機械器具）	このままの状態が続くのならば、今後もあまり変化はないのではないかと考えた。				
製造業（電気機械器具）	輸出を含め、現状は維持できると思われる。				
製造業（輸送用機械器具）	欧州並びに中国経済の鈍化と海外輸出減少により計画割れが継続するものと想定する。				
運輸業	円高の状況は今と変わらないと思う。				
情報通信業（情報サービス業）	暫くはこの状態が続くと思います。				
金融業	勤労者の給与所得が増えていないため、景気の回復が見込めない。				
サービス業（広告業）	今年はこのままいきそうだ。				

変わらない	雇用	公共職業安定所	最近の雇用調整補助金の支給状況は、だいぶ落ち着き震災前の状況に戻ってきている。(主に製造業関連企業での受給が多い。) 現況及び今後の状況等をたずねると、数か月先の受注はあるが、その後は不確定で動向が不明であるとの説明が多いことから、この状態がもう少し継続する感じを持っている。
		求人開拓員	受注が無いと当然事業の見通しが立たない為、人の募集などは考えられないようだ。
やや悪くなっている	家計	スーパー	デフレから抜けだせない。
		小売業(工具)	節電や長期円高傾向のため、マーケットは収縮していると思われる。
		タクシー運転手	先行きが不明な状態が続いている。
		ゴルフ場	統計的に、23年3月以降23年8月まで入場者、売上共に悪かったが、23年10月、11月、12月が前年対比の98%以上に回復した。しかしその後は、今年8月末まで23年度対比で同等で、22年度対比では90%がやっとである。目に見えて22年度と比較すると下がっている。
		レジャー施設	政治の混乱や原発事故に伴う風評、更には、平均賃金の低迷など、どちらかというともるい要因が見られない。
	企業	水産業関係者	さらなる電気料の値上げも控えているため、不安である。
		製造業(電気機械器具)	作業量が減少傾向にある。
		製造業(電気機械器具)	受注減の見込み。
		製造業(輸送用機械器具)	エコカー補助金も終了して、自動車の販売数量が減少するのではないかと思う。
		不動産業	企業のリストラの噂や、消費税UPに伴い駆け込み受注はあるかもしれないが、その反動が心配。購買意欲の低下を招くのではないか?
悪くなっている	企業	商店街代表者	消費税増税など、将来に対する不安要因があり、物を購入するのに罪悪感をもっている。
		スーパー	今年中には回復しない。
		ゴルフ場	10~12月の対事業予算計画で、50ポイントの流れで走っている。地域差はあるが、10~12月に総選挙が想定されると、ゴルフ事業は来場減につながる懸念がある。
	雇用	製造業(電気機械器具)	今後3か月先の稼働率は、100%にほど遠い。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業(精密機械器具)	OEM先の医療機器診断装置が海外から受注があり、50台の発注がありました。この発注が、10月から順次分散台数で売上になる予定です。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	7～8月の数値は、季節指数を除いても昨年と比較して改善傾向。9月以降も急激な環境変化はしにくいと思われます。	
		専門スーパー	昨年の年末あたりから、震災特需の影響がうすくなり、売上高も平年並みに推移していたので、今年は放射能の風評被害もおさまり、全体的に動向も上がってくると思われる。	
		レストラン	秋以降は、またお祝い会等のご予約を多数頂いているので、売上増加になっていくと予想しています。	
		割烹料理店	忘年会シーズンになるので、景気はやや良くなっていくと考えられる。	
		観光型ホテル	団体の先行予約が思ったより順調に推移しているので、個人客の回復がポイントになると思う。	
		観光名所	予約などの状況からは例年並の動きを感じている。また、新たなイベントも開催される事から期待を込めて。	
	企業	農業関係者	米の作況も茨城で「103」が示され、概算価格も昨年より高値で取り引きが予定されており、秋の収穫を迎え、期待感がある。	
		製造業(窯業・土石製品)	8月の受注が相当低かったため、多少受注量・金額も増加すると思う。	
		サービス業(コンサルタント業)	今回同様、大震災後の経済活動の低迷や心理的な自粛から脱しつつあり、その分改善していく。引き続き新しいことにチャレンジする動きがあり、設備投資などが見込まれる。	
		サービス業(広告業)	秋から、年末の準備の為の受発注に期待したい。	
	雇用	求人開拓員	求職者は、勤めたい意識は高いのですが、なかなか求職者のスキルにあった仕事が見つからない。月に5～9回来館される方もおます。	
	変わらない	家計	商店街代表者	良くなっていくとは思えない。当店の商品は水戸市近隣市町村に同業店舗が少なく、近隣市町村から水戸市内の店舗にお客様が購入に見えていたが、来水しなくなった。以前は、市内のお客様も市外のお客様も市内の何店舗かを巡り市内の何処かのお店で購入をしていたが、最近ではネットや通販による購入が増え、お店にお客様が来なくなった。来店客数は減っていないが、相談件数が増えている傾向にある。この原因がしばらく理解できなかったが、最近、顕著に判った事は、消費者が商品を購入するに当たり、その商品の価格や特徴をネット等で知識として得ており、映像で色、形などの情報はわかるが、商品に実際に触れたり、専門知識を知るために専門店に相談来店し、実際の購入はネットや通販で購入する傾向が増えています。
			百貨店、総合スーパー	3か月先も上記と同じ傾向が続くと思われる。
			スーパー	原料、食品相場は上昇してきそうだが、価格デフレが厳しい。価格競争も激しい状況が続くそう。
スーパー			お買上げ点数が伸びていない。又、安い物だけ買って行く人が多くなっている。	
スーパー			3か月のスパンでは現状と同じ状況と思われる。	
コンビニエンスストア			社会状況の変化がない場合、顧客心理の変化は少ないと考えられ、商品の動き、売上の変化は少ないと考えられる。	
レストラン			ご利用人数やご利用金額等についても、大きな変化はみられませんでした。	
旅行代理店			法人の先行受注は、2010年比で上まわっているものの、8月期の受注は低調。	
タクシー運転手			明るい話をまったく聞かない。	
旅行会社			貸切バスの予約も平年並で、これからあまり期待できないような気がする。	
ゴルフ場			オンシーズンを迎えるが、3か月先までの予約数に伸びがみられない。	
レジャー施設			回復傾向にはあるが、問い合わせ等お客様の意見を聞くと、まだまだ風評被害は無くならないと感じるため、ここまでの回復が当分は限度であると思われる。	
理・美容店			今年は成人式の前撮りのお客様もいないので、売上げは変わらないと思う。	
理・美容店			変わらないと思います。	
建築設計事務所			設備投資する材料が見当たらない。	
住宅販売会社			この状況はしばらく続きそう。	
企業			運輸業(道路貨物運送業)	今のところ大きな変化は見受けられない。
		金融業	小売業の中元商戦、地域の催し物等も終了し、年末まで期待ができないため。	
	不動産業	消費税の問題などもあり、慎重に考えていると思われる。		
	サービス業(広告業)	年末商戦への広告宣伝予定が、例年よりも遅れている。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	電気料金の値上げなど。今までは震災復興の為にいろいろな対策があったが、それらも一段落。逆にその費用が税金で負担されるなど、これからが本当の意味で震災費用の負担が始まる。
		百貨店、総合スーパー	新聞で、小麦やトウモロコシ等の価格高騰によりいろいろな商品にその反動が出るとのニュースが流れており、今後更に、生活必需品以外の商品については、動きが鈍くなるのではないかと心配である。
		スーパー	買い上げ点数が低下している。お盆が終了し、年末まで買い控えがあるのではないかとと思われる。
		家電販売店	先行きが見えず、贅沢品は買わず、最低限必要な物だけを買っている。
		自動車販売店	企業の収益が減り、給与やボーナスが減ることが予想される。大企業から始まったリストラが、地方にも影響がでるおそれがある。
		農産物直売所	必要な物しか買わない傾向がさらに強くなっている。平日のフリーのお客様の買い上げが少ない。
		レストラン	消費税をはじめ、その他、値上げなど心配されます。企業の接待や個人消費も控える様に思われます。
		都市型ホテル	3か月先の予約状況が予想を下回っていて、この先好調に伸びる感じがない。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	良くなる要素が見当たらない。
		製造業（金属製品）	年末～年明けにかけては、現在に比べ落ち着きを取り戻す感じですが、同業他社も同じ状況である。
		製造業（一般機械器具）	良かったのは4～6月で、7月からは減る一方です。良かった建設機械関連も多少悪くなって来てます。
	雇用	人材派遣業	工場関係の増産の予定は少なく、減産傾向は続いている。
		公共職業安定所	今後も緩やかな景気回復の傾向は持続していくものと思われるが、当所管内事業所において、今秋一定規模の会社都合離職者の発生が見込まれているほか、製造業における輸出関連業種等での生産減の動きなど不安要素がみられる。12月は例年有効求人数、有効求職者数とも減少がみられ、有効求人倍率は低下する傾向があるが、前記の状況を考慮すると求人倍率低下が例年の傾向をやや上回る状況になるものと予測される。
悪くなっている	家計	スーパー	大型ショッピングモールが増床するので、茨城県内は全部もっていかれる、と言っていました。
		ドライブイン	お財布の紐が固く、売上も伸びず、この先も急によくなるとは思えません。お土産も自分用にと購入。客単価も低くなっております。
悪くなっている	企業	製造業（食料品）	風評被害に加えて、電力料金の値上げ、小麦粉の値上げが予測される。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	商店街代表者	今は、2, 8, 3, 9月は良くないといわれているし、12月は例年忙しいから期待している。
		小売業（酒類）	消費税率のアップが未だ実施されていないので、駆け込み需要はないが、9月～年末に向けて天候や地震等の災害が無ければ、かなり伸びると思われる。あと、今年は忘年会などのイベントが10月末よりかなり伸びる様に思われます。
		洋食食堂	復旧の工事が本格的になってきた。（通行止めになっていた橋が8月末に開通）公共事業も含め、まだまだ工事は続くと思う。
	企業	製造業（食料品）	季節の行事も多く購買意欲も多少増える事を期待し、また気温も低くなって来るので菓子・パンは売上の伸びは見込めるので、悪天候が無ければ良くなっていくと思う。
		サービス業	自動車を中心とする機械分野が上期生産好調だった。
	雇用	学校就職関係者	求人も多く、学生の企業訪問も多くなっている。
変わらない	家計	小売業（米穀類）	今の状態が続くと思います。
		商店街代表者	商店街は閑散とし、観光面での回復も長期化する状態で、大きな変化もなく、厳しい状況である。
		スーパー	販売の価格帯が下がっているが、販売点数は増加していない。客数が微増で、現状を維持している状況です。
		コンビニエンスストア	震災復旧の道路工事など、来年7月まで続けたところもあり、引き続きエリア周辺については、コンビニエンスに対する需要は変わらず高いと考えます。
		コンビニエンスストア	消費については、その時期の季節感が影響する。今年の夏のように猛暑になれば、冷たい商品への嗜好が一気に高まるのと同様に、冬も寒さをはっきり感じる季節になれば、数値は変わるはず。又、商品やサービスの質を向上させる事で来客頻度を高め、消費マインドを高めていければ維持できると考える。
		家電販売店	今後も単価ダウンの影響により、苦戦が想定されます。
		農産物直売所	9月、10月に実施する観光バス（メロン狩り）の予約状況をみても、例年より多いことはなく、変わらないと判断する。
		小売業（菓子販売店）	特に大きな変化は無さそうに思われる。
		小売業（薬品店）	今の政治でデフレに対する金融政策や、財政対策によって景気は良くなることなないと思う。
		小売業（金物店）	道路の整備の仕事が2～3年あるそうなので、仕事自体はあまり変化はないと思います。
		小売業（書店）	小売業なので、商品にも左右されるが、上昇する要因が見当たらない。
		衣料品販売店	7, 8月と客数が減少している。衣料品のため気温や天気も関係していると思うが、必要以上の買物はないように思います。2000円以内の会計が多い。
		割烹料理店	時期としては忙しい時期になるが、仕入れの原材料費なども上がり気味で、売上げに対する利益の確保は難しそう。
		日本料理店	変わる要素が見当たらない。
		タクシー運転手	私達のお客さんは企業が大部分で、交通の便が悪くても出来るだけ工場近くまで来るバスに乗車するようにと通達が出ている企業もあるようだ。又、夜も景気が悪い事もあり、あまり出歩いていない。
		タクシー運転手	3か月先は、年末ということで売上は例年どおり伸びると思います。しかし、現在の乗車率の低下を考えると、現状維持の状態が続くと思います。
		ドライブイン	現在の日本の経済状況から楽観視できない。
		ゴルフ場	昨年と比較した際に客単価が減少してきている。利用率を上げるためにはしかたない面もあるが、その分、他の部署での売上もあるかと思うので、変わらないかと思う。
		ゴルフ練習場	ゴルフ場のリーズナブルなプレー料金の設定、ゴルファーのニーズに対するきめ細かいサービスの対応等、ゴルファーを引き付ける魅力あるサービス体制が衰えない限り、今の状態が当分続くと思われる。
		理・美容店	安定的に景気が向上するには至らないと思います。
クリーニング店	猛暑日が長く続いたので、農家の人は作物によっては良かった人もいる。トマト、米は良かった。反面、さつま芋などはあまり良くないらしい。		
住宅販売会社	今年度はこのまま変化なしと思われる。		

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	全般的に需要の動きが鈍く、売上げが伸び悩みそうです。今の所、上昇の兆しがありません。
		製造業（食料品）	風評被害が続行するため、当分景気の上昇は見込めない。
		製造業（食品）	世の中が急に変わるとは思えない。
		団体	しばらくこの状況のままで変化は感じられない。
		製造業（化学工業）	引き続き経費削減も行われる予定だが、当面は変わらないと思われる。
		製造業（化学工業）	原燃料価格は上昇気味、海外市況も回復しておらず、不透明感は拭えないが、しばらくは需要・稼働とも安定推移すると見ている。
		建設業	受注額等が上昇しても、経費等の上昇により、景気が良くなるという感じがしません。
		製造業（鉄鋼業）	急激に好転する要素が見当たらない。
		建設業	鹿嶋市内の優良分譲地、特に地盤の良い所は、ハウスメーカーによる住宅が建っている。
		運輸業（道路貨物運送業）	年末までは政治の混迷が続くと思われる。物流状況は大きな動きとはならないが、比較的安定的に年末まで行くのではないかと。
		運輸業（道路貨物運送業）	来年に向けて期待したいが、このままいってしまうように見える。
		金融業	今後も急激な変化はないと感じています。
		保険業	全体的にはあまり変化がない。
		不動産業	政治国政の混乱から、気分的には悪くなるような気がします。
		い	雇用
民間職業紹介業	現状から推察すると今の景気の状態だと変わることはない。		
公共職業安定所	窓口において、事業所からの声ではまだまだ厳しい状況であるとの声が多く、現状と変わらないと思われる。		
就職支援センター	積極的に求人を増やす動向の企業はまだ少数であり、むしろ雇用調整を意図している企業が多いと考えられる。		
やや悪くなっている	家計	スーパー	お盆商戦などで、お盆関係の商品も少し売れなくなっている。チラシの入った日以外は売れなくなって来ている。
		理・美容店	今の消費税問題から、政治がうまく機能しない限り、今後、日本の景気が良くなる事はないと思う。
		室内装飾業	私たちの様な商売は不動産が良くない限り光りが差し込まないし、この先不動産が良くなると思わない。
悪くなっている	家計	レストラン	人が動いていない。消費が少ない。自分も含めて高いものは買わなくなっています。かといって安いものも買わない。今は断捨離して古い物を処分している時代だ。
		タクシー運転手	不況感の見通しなく、特に昨今の国政からして良き展望を期待できない。（地方行政、県政の活躍を期する。）
		タクシー運転手	長引く不景気が良くなると思わない。
	企業	農業関係者	少雨のため、大幅に作物全般の出荷時期が遅れる見通しである。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	農産物直売所	最近、直売所ブームで、近くのスーパーがあっても当店に来てくれている客が多いように感じる。	
		旅行代理店	予約状況から見まして、日帰りの昼食、宿泊料金が増していることから、やや良くなっていると思う。	
		ゴルフ場	現在の状況と比べれば、少なくとも良くなっている。実際、10、11月の予約は早く埋まってきている。	
	企業	農業関係者	米出荷が終了し、多少良くなってくるのではないかと思います。	
		製造業（食料品）	秋にかけても各地でイベント等がある。	
		製造業（飲料）	少しずつですが、右肩上がりになっていると思うので、それに沿ってやや良くなってもいいのではないかと。	
		建設業	官公庁発注の工事がまだ本格的になっておらず、年末にかけて受注が多くなってくる。又、放射能除染関連の工事が出てくると思われるので、景気はやや良くなると思う。	
		運輸業（倉庫業）	貨物が順調に動き出すことにより、入在庫も活発になるのではないかと考えられます。	
		不動産業	消費税の駆込み等も含め、県南地区、特にTX沿い、ひたち野うしく等、新しい区画整理地は良いと思う。逆に、旧市街地、周辺農林部は厳しいと思うが、全てに法人化、デジタル化をもって相手ニーズに対応できるなら、しばらくはやや良いと思う。	
	雇用	人材派遣業	秋、冬の季節に向け、仕事が増加していく。	
		サービス業（広告業）	今年（年内）中に検討したいという案件が増えてきた。	
		求人開拓員	私は、事業所を訪問して求人開拓をしたり、来所、法人の求人を受理したりしていますが、ここ2か月位、急に企業担当者が来所して求人登録する数が増えてきた。求人に意欲が出てきたと思う。	
	変わらない	家計	スーパー	前年は震災特需があり、売上高が上がり景気も良かったが、今年は景気上昇の判断材料がない。
			スーパー	日曜日の売上げが落ち込んでおり、回復するまでに時間が掛かりそうである。
			スーパー	良くなる要素がない。（あるとすれば、暑さがおさまること位）
コンビニエンスストア			新聞やテレビの報道を見ていても、プラスになる要素がなく悪いニュースが多い。収入が増える要素が少ないと、お金の動きは良ならない。	
コンビニエンスストア			景況感が厳しいことには変化はなく、お客様に価値を感じて頂くことが出来る商売の仕方をしていく必要性を痛感しており、自然体では変わらないと考えられる。	
家電販売店			特に目立った需要を伸ばすイベントが無い。	
ガソリンスタンド			外部環境が大きく変化しないと思う。	
和食食堂			前年比がほぼ横ばいできてる。	
洋食食堂			平日のランチタイムの客の増加が見込めず、苦しい現状は変わらない。	
寿司店			季節的な問題で、9月、10月、11月はばらつきがあります。市場も9月に入ってガラガラです。	
都市型ホテル			個人需要としては、ご宿泊のオンハンド状況、企業宴会のオンハンドを加味しても特に大きな動き無く、3か月先も景気は変わらないと思います。	
都市型ホテル			現在の状況では、宴会、会議、レストラン、宿泊の予約の増減は無く、変わらないかと思われる。	
タクシー運転手			年末の忘年会シーズンになっても、各会社の景気がパツとしないので、あまり期待はできないでしょう。	
タクシー運転手			もう少し良くなるには時間がかかりそう。	
タクシー運転手			3か月、6か月では変わらない。	
ゴルフ場			ゴルフ場において、予約状況から感じるところ、大幅な増減はいまのところない。	
理・美容店			政治への不安は、まだまだ続くであろうことと、やはり、今後の将来のため、消費は控え、蓄えることで、不安を少しでも減らす傾向にある。	
建築設計事務所			どこの事務所もいい話は聞かれない。	
住宅販売会社	分譲地以外の建替重要が伸びない。			

変 わ ら な い	企業	製造業（家具・装備品）	特殊な仕事ですので、あまり変化はないと思われます。
		製造業（食料品）	景気が上向く要素が見つからない。
		製造業（一般機械器具）	現在、特に景気の良くなる材料が見当たらない。
		建設業	9月より12月～翌年に向けていい話はさっぱり。公共事業費は、耐震補強、修繕工事など、特定の業者のみ受注しているものの、その業者でさえも、「受注が少ない」「たいした事ないよ」「不景気だよ」とこぼしています。公共工事を受注していない業者は全てではないが、民間工事に手を出して頑張っているものの、「予算の先伸ばしで半分以下の受注」「赤字続きで銀行の融資ゼロ」また、「閉鎖の準備している」と、社長が涙ぐんでいる企業も3～4社ある。
		建設業	景気が上昇する要因が見当たらない。
		建設業（設備工事業）	企業団より入札があり、資材の注文（9月中～10月初）納入物件が多数ある。
		金融業	小売、サービス業では大手専門店、飲食店の出店に伴い、顧客争奪が一段と激化している事が影響している。
雇用	公共職業安定所	欧州金融不安や円高の高止まり等、先行きは不透明感が強い。	
	学校就職関係者	車の買い換えなどの長期的な支出見通しに備え普段の生活に伴う消費活動には特段変化は見られないと思う。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	小売業（化粧品）	購入品目数が回復しないと、景気の先行きには不安がある。
		タクシー運転手	企業のタクシー利用が見込めない。一般利用客も同様です。暑さも一段落すると、利用者は少なくなる。
		タクシー会社	震災復興も遅々として進まず、与党の指導力のなさや口先だけの国会答弁等を考えたときには、国内、国外に目を向けると景気が良くなるとは考えられない。
		パチンコ店	店内のお客様の空気が暗く感じられる。
		ボウリング場	高齢層（年金層）の方々に将来の年金に不安な政治動向が見受けられれば、それだけ「使い控え」に向われるであろう。
		レジャー施設	入場者数、客単価ともに微減傾向が続いており、上向きになる要因が見当たらない。
企業	製造業（印刷業）	これから冬の時期は、イベントの件数は減るため、売上げは減少すると思われる。	
	製造業（窯業・土石製品）	民自両党の総裁選や赤字国債発行法案が成立しない状況をふまえた予算執行抑制などにより、公共工事の遅れ等の影響が懸念される。また、解散総選挙となればなおさらであるが、いつまでもごたごたしていないで、早く選挙を行い、決着をつけてもらいたい。	
	製造業（窯業・土石製品）	震災復旧関連以外の公共工事がどの程度発注されるか、先行きが不透明である。	
	製造業（非鉄金属）	電気料金の値上げ分の価格転嫁がしにくい状況に加えて、メーカーからの10月以降の製品値下げ要請から収益面は大幅に悪化する。自動車メーカーの海外生産移転が急速に進んでおり、特に関西系自動車部品メーカーの空洞化から国内競争が一段と激化している。	
悪	家計	小売業（酒類）	飲食店の減少、又、酒・ビールの売上減少、政治がいま後手後手の状態なので、良くなるはずはないと思っています。
		代行運転手	消費税も上がり、ガソリンも値上がりし、消費者が外でお金を使わなくなると思う。

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	地域のスポーツセンターなどの震災後の補修も終わり、スポーツ催事も増加傾向です。参加者だけではなく、父兄の利用も期待できます。また、震災で休場していたレジャー施設が10月から再開するので、近隣店舗には良い影響を与えると思います。
		コンビニエンスストア	先にある消費税増税を見越した動きが出てくるのではないかとされる。未来の不安が確定しているので、特に大きな買物を早めにしようという話を聞く事が多くなっているので、増税前までは消費が高まる事が予想されます。
		タクシー運転手	過去を振り返ってもプラスにならない。政治の世界もかなりの動きがあるようなので、希望的観測で良い方向に進んでもらいたい。消費税も増税になります。我々のタクシー業界でも増客といきたいところです。
		理・美容店	中、高生がお洒落に敏感になり、彼等のカット客が増加しているから、客数は増加の傾向である。
変わらな	家計	スーパー	景気の先行きが見えない。
		農産物直売所	大きなプラス要因、マイナス要因がありません。天候で客数の変動により変化する可能性はありますが、景気が左右される予測はつきません。
		和食食堂	忘年会時期でもあり、今よりは受注も増えると思うが、年々客単価や利益率は減少しつつあり、あまり期待がもてない。
		ビジネスホテル	人の動きが全体的に鈍く、しばらくこの状態が続くような気配。業種的に好況不況のバラツキが出ている。
		ドライブイン	景気好転の要素を見出すのが困難な状況であり、冬のボーナスも現在の企業業績では期待薄であると思われる。また、本来景気の下支えをすべき政治（政府）が機能していない状況下では景気の改善は見込めない。
		ゴルフ場	予約状況にて、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	給与などの変動もなく、売上げも前年比同程度になると思うので変わらない。
		日本料理店	例年は、11月より御祝や忘年会、新年会と多忙な時期になるが、見通しが立たない。
		理・美容店	3か月前、またその3か月前と比較してみても、あまり景気は変わっていないので、今後もあまり変わらないだろう。
		住宅販売会社	お客様の購入動機となる施策がないため、動きが鈍い。
い	企業	農業関係者	金融事業での進捗状況が悪くなってきている。
		製造業（食料品）	今後については政情が不安定で微妙な展開が予想されます。
		製造業（印刷・同関連業）	11月に国政選挙があるとすれば業種によって特需で少しは忙しくなり、売上げ増に結びつくかも。中小企業にとって喜ばない消費税増税を通過させながら、定数削減、公務員削減、給与減額もやらず党内で政争ばかりでは世の中は良くなるし、政治、経済は表裏一体なのであきれられるばかりだ。茨城も合併で、首長も議員（市町村）も減らしながら「県議2名削減」とは理解しがたい。
		製造業（化学工業）	中国等での景気回復情報も無し。
		製造業（金属製品）	現在のような状況がしばらく継続されると考えている。
		製造業（電気機械器具）	受注動向が読めず、当面は現状（作業量減少の状況）での対応を、各職場から求められている。
		電気工事業	客先の設備投資が、現在の景気からして期待できない。
		金融業	消費は引き続き低迷しているが、唯一良好な建築関係は、もう暫く震災に絡んだ工事を継続できそうである。
		サービス業（広告業）	期待のできる様な先の話が出ていない。
わ	雇用	公共職業安定所	人員整理等を行う予定の事業所が数社みられる。
		就職相談員	求人は、相変わらず正社員が少なく、パートが多い。運転手の求人は増えておらず、物流量が増えていないのではないかとされる。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	良くなる条件がない。閉塞感がますます強くなる。お客様の買上げ点数が少なくなった。
		家電販売店	家電メーカーの赤字決算により、需要と供給のバランスが悪くデフレ傾向にある。主力商品の売上不振から3か月前も景気は悪くなっている。
		自動車販売店	補助金がまもなく終了すると、買う意欲も薄れます。前倒しで購入しているお客様もいますので、補助金終了後はあまり期待できません。
		専門スーパー	客数も減少傾向です。3か月前、客数前年比102.6%、今月度101.5%。

や や 悪 く な っ て い る	家計	和食食堂	とりあえず消費税法案が決まった事や、政治の不安定さで、購買意欲が下がるのではないかと思う。
		ラーメン店	当店は、毎年なんですけど、夏期が過ぎると年末まで下がります。
		和食レストラン	所得が減っている為、外食に使う費用が減っていると感じます。(中食試向の増加も影響?) 気候が変わるため、温度差があると売上にも大きく影響があります。
		都市型ホテル	忘年会シーズンに入っていくので、売上げは一年の中で良い売上げとはなるものの、年々、忘年会も縮小ムードになっている気がしています。社会(政治)の不安定さも影響あるかと思っています。
		タクシー運転手	夜の仕事(飲食店)からの仕事が減ってきていると思う。年末にかけても、景気はますます悪くなると思う。
		ドライブイン	景気回復の兆しがみられない。
		ゲームセンター	詳しい理由はわかりませんが、7月、8月は小学生～中学生が多くなるはずなのに、逆に減少している。9月に入ってから状況が変わらずなので、今後も悪くなると思われま。
		レジャー施設	お客様の声から考えると、今後ますます財布のひもが固くなると思われ。また、自分を含め出費を抑える傾向があります。
	企業	製造業(食料品)	例年、夏に売上が増えてきて、12月に向かって売上が伸びて行くはずが、今年は増減を繰り返して順調に増えて行かない。得意先の情報を収集しても、年末に向けて明るい展望は見えてこない。
		製造業(印刷・同関連業)	電気料金の値上がりがあり、コストが増大し、それを補う方策がない。
		建設業	消費増税や政治の政権獲得等ばかりが目立ち、当分景気は良くなる気がしない。
		不動産業	賃貸単価が下降傾向のうえ、生活保護者の来客が増加。
		製造業(印刷・同関連業)	大手企業が世界との戦いで苦戦しているため、国内が良い訳がありません。
	雇用	学校就職関係者	製造業では、大手企業の海外調達が増大して、中小企業の仕事量の減少が進行するものと思われる。
悪 く な っ て い る	家計	旅行代理店	政府の方針が出ないまま、衆議院は解散するのだろうか、やはり、増税は私達にとって大変で、今以上に厳しくなるだろう。
		タクシー運転手	今年、新年度より、製菓会社の接待に関して営業方針が変更になり、タクシー利用の接待が激変している。単価の一番大きな需要が無い事で、売上げ分母も落ち込みが懸念される。
		タクシー運転手	デフレの対応がなされていない。
		クリーニング店	世の中の先行きに不安材料が多いとの声をよく聞きます。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	周りに生活保護の方が多くなってきた。若夫婦が年寄の年金をあてにしている。
	スーパー	梨, 巨峰, 少し割高でも美味しいものは売れる。
	スーパー	雇用面での厳しい話を聞く。盆時期の売上も前年を割っているのは自社のみではないようである。
	衣料品販売店	特に暑い日が続き, 外出して買い物している人が少ない。夏休みに入っているせいか, 見かけるのはファミリーだけである。
	小売業(燃料)	連休等で車で出かけることが少なくなっているように思う。
	小売業(水産物)	いまだに原発による風評被害に日々営業努力をしている。県や市で農業や漁業等の風評被害に対し, 安心して食せる物をもっとPRして欲しい。そうなれば, お客様も安心して地物を沢山購入して頂けると思う。
	小売業(時計)	工事関係の細かい仕事は有るとのこと(悪くはないとの意味)。
	民宿	3か月位の範囲では, さほど変わらないのではないかと。年単位でないと変化は感じられないと思われる。
	タクシー運転手	新車購入時の国の補助金もそろそろ終わりですが, あまり効果が無くなっていると聞く。概して, 自分の回りでは, トータルの節約できるのか, 軽自動車の方の購入が目立つ。
	タクシー運転手	前回の時も記載したと思うのですが, この3か月も相変わらず地元企業の深夜残業での利用が少ないのが現状です。原発事故の影響かと思いますが, 何とか地元企業のがんばりに期待するばかりです。
	ゴルフ場	ゴルフ業界だけで言うと, シーズンの料金が下落傾向にある。完全なデフレと認識している。
	ゴルフ場	県北地域, 行政人口65万人の中, ゴルフ事業計画策定上, ゴルファー人口10%の指数が変化している。いわゆるゴルファー人口の減少をどう予測するかが大事なポイントになる。65才以上のゴルファー人口増の傾向は, 天候の良し悪しで来場数に直接影響を与えるので, その対応が急務である。
	レジャー施設	最近, 以前に比べるとお弁当などの持ちこみをする客が目立つ。また, 客単価も下降傾向にある。それらを勘案すると, 景気は良くないと感じる。
	ゴルフ場	企業の大型コンペが減っている。震災の影響もあり, まだまだ震災前の状態に戻るまで時間が掛かると思われる。
理・美容店	街中に人の往来が少なくなった。	
企業	林業関係者	国補助事業が変動して現場を進めるのには大変な時期に差しかかっていると感じる。
	水産業関係者	全国的な事だが, 個人消費の低下が感じられた。
	製造業(精密機器)	成約になる単価が下がっているように感ずる。
	製造業(電気機械器具)	中国及び韓国との領土問題の影響で, 日本の製品の不買行動や日本への従来の見送り等が度々起こっており, 目先の景気への影響は大きいと思う。ただ, 私個人的にはこの動きは長続きしないと思う。日本の製品がなければ中韓の産業界は成り立たないのだから。私個人としては多少高くても日本製を購入し, 日本の企業に利益貢献しようと思うようになった。
	製造業(輸送用機械器具)	以前にも増して, セール(下取りセール)などが多いような気がするが, 消費者の反応は鈍い様な気がする。
	製造業(電気機械器具)	親事業所の海外調達意識が非常に強いことにより, 近い将来を見据え, 仲間の中小企業も海外進出の動きが見られる。
	運輸業	工業原料にしても, 工業半製品にしても輸入貨物が以前よりも増えてきた。
	金融業	取引先からは, 円高の問題や消費税増税の話題が絶えない。企業経営者は, 明るい前向きな話題がなく危機感を感じてる。
	不動産業	行政として景気高揚の為のコンフル剤が欲しい。
雇用	学校就業関係者	自分が教えている電気工事料の生徒に対して, 電気工事業からの求人票が昨年度より多く提出されている。電気工事業(建設業)に限ってみれば, 景気は上向いているのかと感じる。
	求人开拓員	製造元の会社が生産調整しているようで, 内職募集が少なくなっている。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	お客様の目が、価格に対して非常に厳しくなっている。そのため、業者間の競争も激しさを増し、利益率の低下を招いている。
	商店街代表者	10月28日、震災復興イベント水戸まちなかフェスティバル「MITO. FFS」が開催されます。水戸市の大工町から水戸中央郵便局までの国道50号で、交通規制をしてイベントが行われます。通称「ホコ天」で水戸黄門まつりと水戸藩時代まつり以外では、全面交通規制になるのは昭和49年の茨城国体の前夜祭以来のことで、「歩行者天国」は中心商店街の店主の念願でした。このようなイベントが定期的に行われないと、活性化に繋がらないと思います。当商店街も「わけあり市」「ハロウィンイベント」「水戸黄門まつり太鼓演奏」でイベントを盛り上げます。是非、来て下さい。
	百貨店、総合スーパー	雑誌、テレビ、インターネット等で商品情報を確認して来店購入されるお客様が増えてきている感じがあります。
	スーパー	穀物相場の値上げがニュースで取り上げられている。食品は、商品により大幅な値上げがあるかもしれない。
	スーパー	お客様は必要な物、量を求める動きがより強くなっている。
	コンビニエンスストア	子供を習い事に行かせる家庭が増えてきている。お金の使い方が価値観優先になってきている。
	農産物直売所	個人の外出や飲み会の開催がこの夏とても少なかった。
	専門スーパー	安い物を選んで、ダメになったら買い換えるとお客から、良い物を選んで、長く大切に使うお客様に替わってきている。
	スーパー	何か月か前に家族で国道沿いの有名飲食店に入ったときは一番で、帰るころに1〜2組。先日行ったらまた一番で、帰るころに1組。たまたま平日ではありますが、食べに出歩くお客さんが少なく、不景気だという印象をうけたと言っていました。
	レストラン	放射能汚染の影響が、県産品（農産物、魚貝類等）に出てこないかが心配で、出荷停止や風評被害で景気にも影響されると思う。
	レストラン	飲食関係を控える様に予想されます。特に、外食を控え、内食が今まで以上に多くなるのではないかと思います。
	レストラン	春から続いている様々なお祝い会の受注も一段落しました。秋以降の受注にも期待がもてると思います。
	割烹料理店	茨城空港ができ、我々の住むこの地域の人の流れがいくぶん動くかと思いきや、通過するだけの「穴」となってしまったような気がします。やはり、地元ありきで商売をしていかないと厳しいと思います。
	都市型ホテル	8月に限定していえば、ファミリー層の来県が昨年比で増えていると思われれます。
	都市型ホテル	お客様との会話で、不景気という会話は減ってきたが、良いという話も聞けない。
	観光型ホテル	イベントなどの人出はおおむね順調、但し特定日集中型は変わらないので平日が問題。
	旅行代理店	茨城県への着地旅行については、風評被害影響で依然きびしい状況にある。
	観光名所	以前よりも海や周辺からの回遊してくるお客様が少なく感じる。復興ムードにも一服感が感じられ、福島、宮城、岩手などに比べると、本県がメディアに取り上げられる事が極端に少ない。様々な取組みをしているが、1業者では、限界を感じるどころです。
	ゴルフ場	ゴルフ場業界では、プレー代の低価格化競争が恒常化しており、当社のプレー代は優待などをしていても高く感じるプレーヤーが多くみられる。
	レジャー施設（乗馬クラブ）	新しいことに目を向けないと、呼び込めないと思う。
レジャー施設	入場者は、まだ例年を下回っているが、お土産の売れ行きは好調で震災前の売上をも上回っている。旅行やレジャーへの出費は抑えられていた感じであったが、この夏は消費傾向が見受けられた。	
理・美容店	スーパーで、夜の残り商品を割引をする時間が以前より遅くなりました。（例えば、19:00〜割引を19:30〜割引）お客様も遅く来る。	
企業	製造業（一般機械器具）	タクシーに乗る客がいないのか、タクシー営業が早く終わってしまい、遅い時間に乗れない場合があります（一部のタクシーです）。また、ガソリンの値上げがあり、今後の動きが気になります。
	製造業（精密機械器具）	OEM先のお客様は、海外市場が多い為、売上のシフトも止む無しと思いますが、国内ではここ最近無かった事でした。これが一過性なのか今後も続くのか、予測出来ません。
	建設業	個々の消費意識は減衰している。新たな消費に関心が無く、テレビ新聞等のマスコミに左右されなくなった。
	運輸業（道路貨物運送業）	庸車がすぐに手配出来ている。
	金融業	水戸地区では、東日本大震災後の風評被害に対し農業者を支援するため、地域復興応援企画「新鮮野菜の産直市」が催された。
	サービス業（コンサルタント業）	水戸市の中心市街地では、前回同様、臨時市役所が移転してきたことをチャンスととらえた新規出店がさらに増えた。今年はあまりの暑さで、道を歩く人が少なかったり、屋外イベントに人が集まらないことがあった。
雇用	求人開拓員	野菜・魚・ガソリン・電気代などの支払いが多くなり、財布の紐を引き締めています。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	ガソリン価格が上昇している。消費税の増税が確定し、料金の値上げ、利益の圧迫等、不安をぬぐえない。
	商店街代表者	金まわりが悪いからお金が入ってくれば色々な事ができるけど、入ってくるお金をあてにして、先に物を買うことはできなくなっている人が多い。
	スーパー	高齢者の少人数世帯が増えている様に思います。少量パック、小分け販売が多い。一時増えた家族人数が減っている。
	スーパー	正社員になれないでアルバイトで生活をしている人が採用時少しずつ多くなっている。催事イベントを募集しても集まらない。テナントが退店しても次に入るテナントが無い。
	コンビニエンスストア	震災前対比で見ると、行楽客については大きく減少しています。風評被害はまだ続いています。
	自動車販売店	若い人の仕事が決まらない。特に、大学卒業の人は困っている。
	小売業（酒類）	とにかく鹿島地区は、祭や花火大会など、人の集うイベントが多い様に見られます。又、その時に購入されるお客様も、かなり金銭的に節約志向というより、大胆にお買い上げいただいたため、30%近く昨年より（祭などのイベント時の売り上げが）伸びた。
	小売業（金物店）	海岸沿いで護岸工事が先日始まりました。
	レストラン	観光のお客様が少ない。余分な外出・外食がなくなり、エコイコール節約という感じです。
	洋食食堂	市外の幹線道路沿いに大型店の出店が続いている。又、市内には大規模な駐車場を備えたコンビニが開店した。市のかたち（商業環境）が大きく変わりつつあると思う。
	割烹料理店	エコカー補助金の影響なのか、新車でエコカーが多く走るのを見かける気がする。自動車業界は、景気が良いように思う。
	日本料理店	月曜日に行う接待が少なくなってきた。
	タクシー運転手	市、県の計画により、風力発電の海洋設置等の工事を今後のエネルギー対策を機に積極的に推進される事を望む。
	タクシー運転手	夜間飲食するお客様がほとんどなくなった。
	ドライブイン	昨年に比べ、東日本大震災の風評被害が解消されてきたせいか、新米など農産物がよく売れる。また、夏休み鹿島灘での海水浴を楽しむ家族連れが多くみられるようになった。
	ゴルフ場	少しずつではあるが、団体でのお客様が増えてきているかと思う。また商品などの購入も増えてきている点から、景気がやや回復傾向にきているように思われる。
	理・美容店	旅行やレジャーにお金を使う方が増えていると思う。
	クリーニング店	全般的にデフレ状態です。収入が変わらないのに、震災の修理の返済や電気料の値上げに不安を感じている。震災の為の建物の解体が多く見られる。
	室内装飾業	道路を走っている車を見ると特に目につくのが物流関係の車両の多さである。少しずつでも良いから景気の足がかりになってほしい。
	住宅販売会社	動きがないことが特徴的と言えば特徴的かも。
住宅販売会社	消費税に関する事を気にかける方が多くなっている。	
企業	農業関係者	県の協力を得て、各地で農産物フェアを実施している。鹿行地区の作物は、非常に評判が良く、手応えを感じている。
	製造業（食料品）	昨年の震災後下がった客単価の回復もあまり無く、売上の伸び悩んでいる。食料品の落ち込みは大きく、消費環境は変わらない様に思える。
	製造業（化学工業）	円高、電気料金値上等によって、当地でも生産拠点見直し等、効率化を目指した再編が加速するのでは。
	建設業	被災した港からしらす漁に久しぶりにでられたと聞き、少しずつでも復旧されてきている事を感じます。単純に、被災された現場が復旧すれば景気が良くなるものでもないけれど、身近に感じます。
	運輸業（道路貨物運送業）	県北の温泉に行ってみると、思ったより多くの観光客が泊まっていた。特にシルバー世代の方々は元気である。
	保険業	結婚しない人が多く見られ、人口減少が続いている。
	不動産業	新聞、ニュース等で赤字国債発行法案が困難になり、地方交付税の交付が先送りされたとの事、政治等、国はどうなっているのか。
サービス業	北関東道の物流がひとところに比べやや増加しており、海外の経済状況が悪い割に実態経済はそれほど低迷はしないと考える。	
雇用	民間職業紹介業	とにかく製造業を中心とした景気の好転が図れない限り難しい。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	小売業（酒類）	人の往来が土・日曜日は特別のように少なくなってきました。免許緩和になってから大型店に皆流れて行き、又、コンビニエンスは24時間営業なので、常に買う事が出来るというメリットがあると思います。
	コンビニエンスストア	女性客の比率が高くなっている。お店は売上が良くなっている傾向はあります。特に、仕事をしている女性は、利便性の追及があるように見えます。
	農産物直売所	土曜、日曜日、他県ナンバーのお客が増えている。特にゴルフ帰りの客も多い。そういった意味からも、景気が良くなっているのではないのかなと思われる。
	和食食堂	大型ショッピングモールの集客力は変わらず良い。色々選べるというお客様のニーズが高いことの表れだと思う。
	洋食食堂	駅前の大型店の撤退などで、中心市街地の衰退など問題が多く、先行きが心配である。
	寿司店	お客様から難しい政治、経済の話がよく出てきます。今日の出来事等、議員様は何をしているのでしょうか（特に国会）。
	都市型ホテル	猛暑であった今年の夏もビアガーデンは昨年より入客は減少しましたが、近郊に新規参入した店舗も増え、需要総客数は変わらないと思われます。客単価も動きはないと思われますので、景気としてはこちらもあまり変わらないと思われました。
	タクシー運転手	薬品会社様を顧客にしている会社は、かなり厳しいみたいです。
	タクシー運転手	タクシーチケットを利用している企業が減少しているように感じます。
	代行運転手	失業者が増えている。
	ゴルフ場	来場客には、この夏の気候が仕事に影響している方もいる。好況の方、また、不調の方、どちらもいるので、一般的には大きな変動がないと思われる。
	ゴルフ場	8月中旬までオリンピックのメダルラッシュで明るい話題で盛り上がっていたが、最近、中国、韓国との領土問題のこじれ、首相問責決議案の可決等、また暗い話題が出てきてしまった。出口が見えるとまた閉じるという事が繰り返されるという感じだ。
	ボウリング場	経済動向の発表では微増の数値が出ますが、それは大企業が生み出している数値であって、その影で中小企業がどれだけ泣かされているか「働けど働けど金にはならず」で、疲れきっている大勢の労働者がいる。その中の一人が私かも。
	理・美容店	夏休み、お盆休みを終えてみて、遠出をした方は少数でした。あまり出掛けていないという方が多数でした。
	建築設計事務所	暑い夏、夏休み等で動きが鈍い。
住宅販売会社	消費税増税の話が具体化したので、関心は出てきたようだが、まだ駆け込み需要とまではいかない。	
	製造業（家具・装備品）	仕事と売上どちらも良い話は耳に入りません。しかし、廃業や倒産の話はあまり聞きません。不思議です。
	製造業（窯業・土石製品）	当社の関連会社でセメントの輸送を請け負っている会社があるが、関東地区内では相当車が間に合わない状態になっているそうです。東北方面での需要のしわ寄せが影響している。
	製造業（窯業・土石製品）	消費税の増税が実施されれば、当面は駆け込み需要が見込めると思うが、その後の消費の冷え込みが心配である。
	建設業	飲食店の客入りが、店により大きな変化がある。工夫、知恵を出しているお店では、大入満員のお店もあるようだ。
	建設業	全体的に見れば、景気は回復していないように思うのだが、身の回りの新築状況を見ると、以前よりけっこう家を新築している人が多いような気がする。同業者も暇だと言っている人は以前より少なくなった。
	建設業	どちらかという、量販店（小売業）は、人の購買意欲が比較的安定しているように感じる。
	金融業	法人、個人共に税金の未納による税務署からの調査依頼を受けることがある。
	不動産業	各業界に於いて、総合的にニーズに応えている大規模な法人化された組織が、ニーズに応え業績を伸ばしている（総合金融業、総合食品・生活関連業、総合医療業、総合不動産・建設関係、農業法人化等）。個人の能力の限度が、年と共に出てきた（国際化もしかり）。業況の変化のキャッチと対応が大事である。
雇用	人材派遣業	半導体系の減産が見られる。
	公共職業安定所	8月の新規求人数が対前月比10%以上増加見込となっている。要因について、現在、分析中である。大型建設機械製造業は、直接求人は無いものの、シールドガスの関係で好調と聞いている。
	学校就職関係者	エコカー減税の影響で車を買換えている人が多い。私自身住宅エコポイントを利用してリフォームをしたが、忙しくあちこちの現場に回っているという作業員の方達の話の話を聞くと、景気が悪いような感じはしない。
	求人開拓員	ホームページ等でいばらき就職支援センターを知り、求人を出したいと電話がかかってくるが増えてきた。景気回復の兆しか？

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	お客様の財布の紐が固くなった気がします。
	スーパー	お盆の買い上げ状況はやや高質、高額商品の動きが昨年よりも良かった。
	家電販売店	省エネに関する関心は、消費者の中で変わってきている。しかし、LED電球やLED照明といった部分が多く、主力商品は決断が鈍い。
	自動車販売店	物があふれ、目新しい製品以外は欲しいとは思いません。誰も同じと思います。すばらしい品物が各分野で発売されれば、景気も良くなると思います。
	農産物直売所	やはり、安価な商品の動きが良いようである。又、果実関係についても大箱ではなく小箱での販売が増えている。
	専門スーパー	来店客は年配の方が増えていると感じます。お年寄りのニーズに応えた商品、サービスを提供していきたいし、求められていると思います。
	ガソリンスタンド	卸部門では、系列販売店が安い非系列の油を購入している模様。油の消費量が減る中で、価格競争が激化している。
	和食食堂	価格の安い物を求める傾向が益々強くなっている様に思います。
	ラーメン店	特にありませんが、しいて言えば、さらなる不況が待っている様に思います。
	都市型ホテル	大企業の増築等で、工事関係者の出入りがかなり多い。(宿泊や近隣の飲食店等を利用している。)6月~9月末で、この工事も終了らしい。
	旅行代理店	残暑イコール晴天が続いており、野菜が高くなっている。雨がほしい。増税より、もっとやる事があるはず。国民一人一人から税を増やすのではなく、支出をおさえる方向でお願いしたい。
	ビジネスホテル	特に大きな変化はないが、市長交代による変化に期待するが、時間がかかりそう。
	タクシー運転手	私は昼間は病院で客待ちをよくしますが、バス乗場に人がたくさん待っていたかと思うと、デマンドなどの安い料金の乗物に人がどんどん乗車し、タクシーが4台くらいで長時間お茶を引く状態です。市の方でもタクシーの首をしめるつもりなのかなあと感じてしまう。早く飲み屋さんが忙しくなってくれないかなあ。
	タクシー運転手	国民無視の政治のために、閉塞感が働く。
	タクシー運転手	会社の残業が少なくなり、景気が悪いとの声をよく聞く。
	ドライブイン	低予算での旅行者が増えて来ている様な気がする。(昼食の単価が低くなって来ている、お土産品を買わない)
	ゴルフ場	ガソリンがさらに値上りしそうで不安です。
	日本料理店	付近で、小、中学校の耐震工事や大手企業の工場増設工事により、工事関係者が入って来ているので、姉妹店の居酒屋やお好み焼店は順調である。
	ゲームセンター	利益確保のために今まで1回100円で遊んでいたUF0キャッチャーを1回200円にする競合店が出てきた。但し、お客様が離れているようで、売上も利益も確保できていないように見えます。
	理・美容店	9月から各種料金の値上げが続くので、どうなるか不安材料でもある。
理・美容店	お客様と車の買い換えの話になった時、買うなら燃料のいいものとか、コンパクトカー、又は軽自動車にするなどと、節約する方向の話がでる。	
企業	建築設計事務所	あまりにもヒマで、建設会社なのに週休2日制にした！という話を聞いた。
	住宅販売会社	消費増税を前に、様子伺いに入った感じがする。
	農業関係者	7月、8月の干ばつにより、農作物に影響している。
	製造業(食料品)	自分の知人で毎年決まって家族旅行に出掛けていた家族(複数)が、今年は旅行を減らす予定だと聞いている。どうも、ボーナスの減額や自営の会社の売上が減っているらしい。
	製造業(印刷・同関連業)	最近、関東近郊のアウトレットに行く機会があったが、若い人、家族(小さい子供さんも含む)連れで混雑はしているが、思っているほど買物袋を下げている人が少ないと感じた。ウインドショッピングを楽しんだり、軽食を家族揃って楽しんだりとあまりお金を使わない感じだ。若い人の方が、今の時代、また、近い将来をきちんと見極めて生活しているのか?勉強させられた。
	製造業(金属製品)	少ロット、短納期、低コスト化の動きは変わりなく進んでおり、利益を生む策が無くなってきている。
	建設業	身の回りには、元気のある企業や小売店は見受けられない。
	電気工事業	大型乗用車よりエコカーや軽自動車に乗っている人が多くなっているように感じます。どの町に行っても閑散としていて活気がない。大型店舗に人が集中しているだけである。
	金融業	ソーラーシステムを設置して、東京電力に売電を実施することを検討している顧客が増えているように感じます。
	不動産業	生活保護者の賃貸あっせんが増加している。家主も市役所からの振込で滞納の心配がなく、断わられることは少ない。
雇用	学校就職関係者	今が求人活動の最盛期であるが動きが鈍く、特に一企業の求人数が減っている。